



TCS-9500

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.6 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

改版履歴

第1版	2023年04月20日	新規作成
第1.1版	2023年05月26日	改版 RoHS 追加
第1.2版	2023年06月30日	改版 記載内容の一部変更
第1.3版	2025年05月16日	改版 ロゴ差し替え
第1.4版	2025年05月27日	改版 固定金具の写真追加 ターミナルブロックのピン配列を追記
第1.5版	2025年08月4日	改版 RTMPを未サポートに変更
第1.6版	2025年08月29日	改版 記載内容の一部変更

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	7
2. 梱包物一覧	7
3. 製品外観	8
3.1. 前面	8
3.2. 背面	9
3.3. 固定金具	12
4. インストレーション	13
5. 対応解像度一覧	14
6. 設定画面へのログイン	15
7. メニューの切り替え方法	19
7.1. Setup メニューから LIVE メニューへの切り替え	19
7.2. LIVE メニューから Setup メニューへの切り替え	19
8. 基本設定	20
8.1. IP アドレスの変更	20
8.2. 映像入力インターフェースの変更	21
8.3. エンコードの設定	22
8.4. Normal モードでの接続	23
8.5. SRT での映像配信	24
8.6. MPEG-TS での映像配信	26
8.7. RTSP サーバでの映像配信	27
8.8. RTSP ストリーム URL 一覧	28
8.9. 双方向 IP 音声伝送	29
8.10. ポート開放の設定	30
9. Setup メニュー	31
9.1. Video&Audio	31

9.1.1. Information	32
9.1.2. Video	33
9.1.3. Audio	38
9.1.4. Output	39
9.2. Image	40
9.2.1. Mask	41
9.3. Network	43
9.3.1. IP&Port	44
9.3.2. RTSP Multicast	48
9.3.3. QoS	49
9.3.4. Discovery	50
9.3.5. One-way	51
9.3.6. SRT	53
9.3.7. SNMP	56
9.3.8. DDNS	58
9.3.9. IP filtering	59
9.3.10. E-mail	60
9.3.11. FTP	62
9.3.12. SSL	64
9.3.13. Connecting	65
9.4. Event	66
9.4.1. Notification	67
9.4.2. User Defined Event	69
9.4.3. Motion Detection	70
9.4.4. Audio Detection	72
9.4.5. Sensor	73
9.4.6. Alarm	75
9.4.7. Event OSD	76
9.4.8. HTTP Action	78
9.5. Record	80
9.5.1. General	81
9.5.2. Schedule	83
9.5.3. Disk Information	85
9.5.4. Search Page	87
9.6. Device	88
9.6.1. Information	89
9.6.2. Serial	90
9.7. PTZ	92

9.7.1. General	93
9.7.2. Preset	94
9.7.3. Group	95
9.7.4. Advanced	96
9.8. User	98
9.8.1. User List	99
9.8.2. Login Policy	102
9.9. System	104
9.9.1. Information	105
9.9.2. Upgrade & Reboot	106
9.9.3. Time	108
9.9.4. OSD	109
9.9.5. Language	112
9.9.6. Log	113
10. Live メニュー	116
11. 製品仕様	118
12. 困ったときには	120
13. 製品保証	121

1. 製品概要

TCS-9500 は、H.264/H.265 の動画圧縮規格を採用し、HDMI の映像データや G.711 或いは AAC の音声データを IP ネットワーク経由で伝送できるエンコーダです。

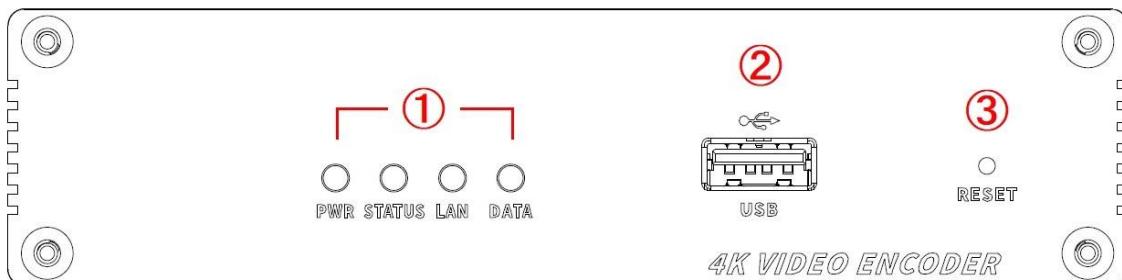
2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
固定金具	2 個
固定金具用ねじ	8 個
端子ねじ	1 個
3-pin ターミナルブロック	2 個
4-pin ターミナルブロック	2 個

3. 製品外観

3.1. 前面

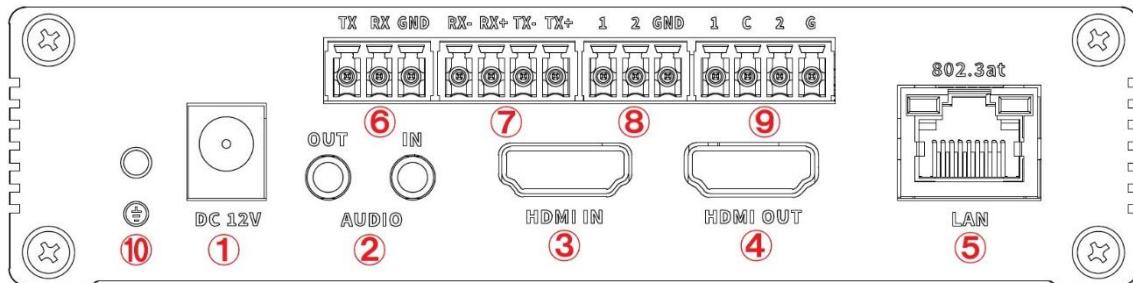


#	表示	説明
①	<u>LED</u>	電源の OFF/ON、本体の状態、対向機との接続状態、映像/データが送受信されているか等を示します。
②	<u>USB</u>	USB メモリを接続し、録画を保存します。 ※USB メモリースティックまたは USB HDD(外部電源付き)を推奨します。詳細は” USB ディスクについて ”をご確認ください。
③	<u>RESET</u>	ネットワーク設定を初期状態にします。 PWRだけが点灯するまで(約 7秒間)押下してください。その後、自動で再起動し、約 1 分後にパスワード、IP 設定、ユーザリストのみ初期化された状態で起動します。

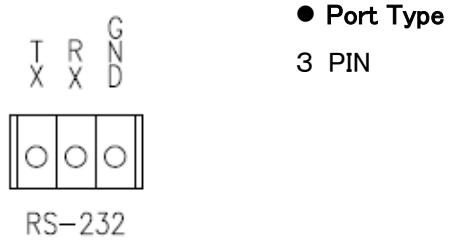
LED の状態

#	名称	状態	説明
①	<u>PWR</u>	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	電源が入っています。
	<u>STATUS</u>	緑点滅	システムが正常に稼働しています。
		赤点灯	システムに異常が発生しています。
	<u>LAN</u>	消灯	対向の機器と接続されていません。
		緑点灯	対向の機器と接続されています。
	<u>DATA</u>	消灯	HDMI は接続されていません。
		緑点灯	HDMI は正常に入力されています。
		赤点灯	サポートしていない形式で入力されています。

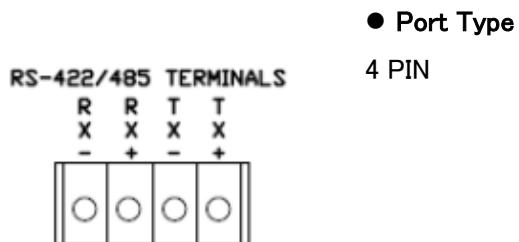
3.2. 背面



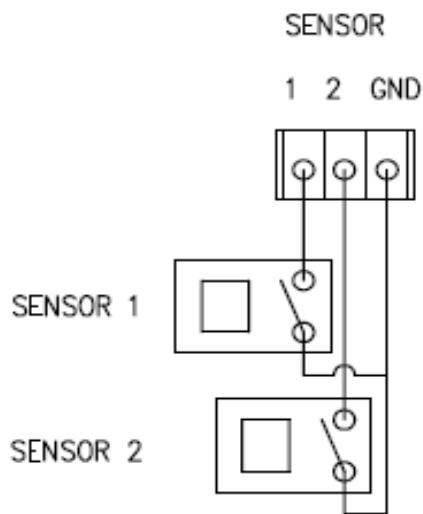
#	表示	説明
①	<u>DC12V</u>	DC12V の電源を供給します。
②	<u>AUDIO</u>	<u>OUT</u> 増幅機能を有するスピーカなどを接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 出力ポートです。
		<u>IN</u> 増幅機能を有する音源を接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 入力ポートです。
③	<u>HDMI IN</u>	HDMI 信号を入力します。
④	<u>HDMI OUT</u>	HDMI のループアウト信号を出力します。
⑤	<u>LAN</u>	本機をネットワークに接続します。(10/100/1000Mbps)
⑥	<u>RS-232</u>	カメラのコントロール(PTZ 制御)を行います。
⑦	<u>RS-422/485</u>	カメラのコントロール(PTZ 制御)を行います。
⑧	<u>SENSOR</u>	外付けのセンサーを接続します。
⑨	<u>ALARM</u>	外付けのアラーム機器を接続します。
⑩	吉	付属の端子ねじを保護接地極用のねじ穴に接続します。

Serial ポート RS-232

ピン番号	ピン名	説明
1	TX	RS232 TX (Transmit)
2	RX	RS232 RX (Receive)
3	GND	Ground

Serial ポート RS-422/485

ピン番号	ピン名	説明
1	RX-	RS422 RX-
2	RX+	RS422 RX+
3	TX-	RS422 TX- or RS485 TRX- It is selectable by S/W setup
4	TX+	RS422 TX+ or RS485 TRX+ It is selectable by S/W setup

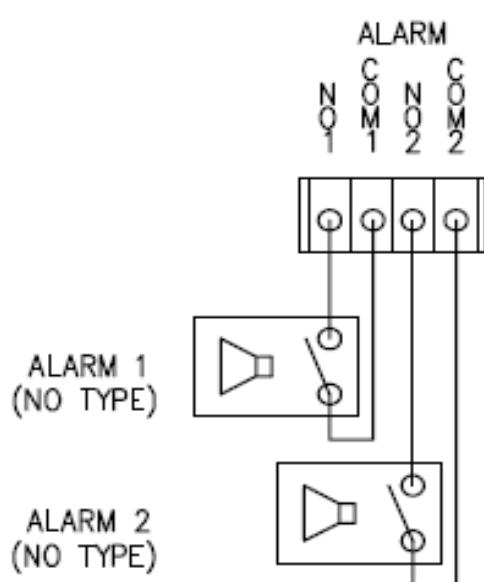
Sensor ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Sensor Signal Input Type

NO Contact Signals

Alarm ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Power Rating

(User has to use following spec)

Voltage Rating : 12VDC

Current Rating : 0.1A

● Alarm Signal Output Type

NO/NC Contact Signals

● Connection to External Device

External alarm line power is under 12V/1A

3.3. 固定金具

«固定金具(2本)»



«固定金具取り付け時のイメージ»



4. インストレーション

以下に接続例を示します。

■ 1 対 1 接続

一般的によく使われる構成は、1 対 1 接続です。

TCS-9500(エンコーダ)の対向で使用するデコーダは、TCS-8500 または TCS-1700 となります。



また、音声信号を IP 化し、IP 経由での音声伝送ができます。

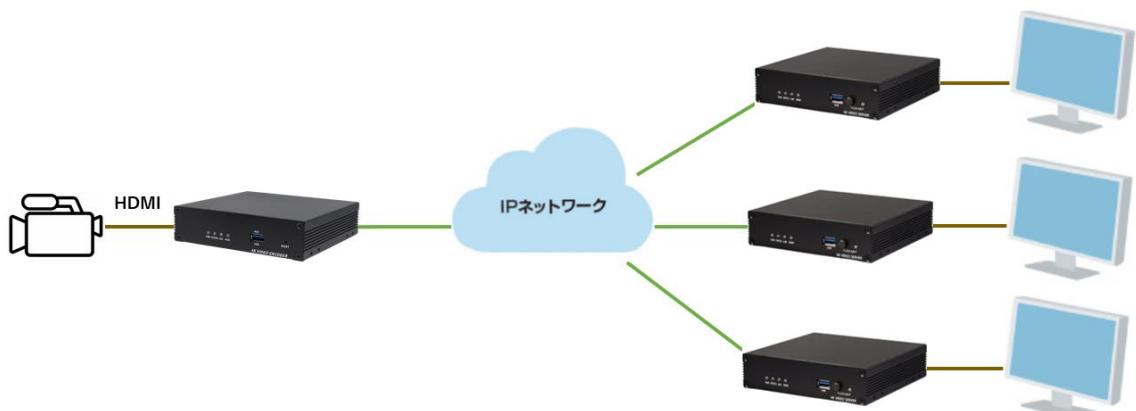
片方向はもちろん、双方向での音声やりとりが可能となります。



■ 1 対 多 接続

1 つの映像を複数の場所から監視することができる、1 対多の接続です。

最大接続数は、ネットワーク帯域幅によって制限されます。



5. 対応解像度一覧

解像度	INPUT	OUTPUT
640 × 480 p60	○	○
720 × 480 p60	○	○
720 × 576 p50	○	○
800 × 600 p60	○	○
1024 × 768 p60	○	○
1280 × 720 p50/60	○	○
1280 × 768 p60	○	○
1280 × 1024 p60	○	○
1600 × 900 p60	○	○
1920 × 1080 p24/25/30/50/60	○	○
2560 × 1440 p30	○	○
2560 × 1600 p60	○	○
3840 × 2160 p24/25/30/50/60	○	○

※HDMI OUT は、HDMI IN で入力した解像度をそのまま出力します。(ループアウト)

対応ドロップフレーム一覧

解像度	ドロップフレーム
720 × 480 p60	480p60 (59.94)
1024 × 768 p60	1024 × 768p60 (59.94)
1280 × 720 p60	720p60 (59.94)
1280 × 1024 p60	1280 × 1024p60 (59.94)
1920 × 1080 p60	1080p60 (59.94)
1920 × 1080 p30	1080p30 (29.97)
2560 × 1600 p60	2560 × 1600p60 (59.94)
3840 × 2160 p60	3840 × 2160p60 (59.94)
3840 × 2160 p30	3840 × 2160p30 (29.97)

※p24 のドロップフレームは未サポートのためご使用になれません。

6. 設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、TCS-9500 の設定を行います。

- ログイン初期設定

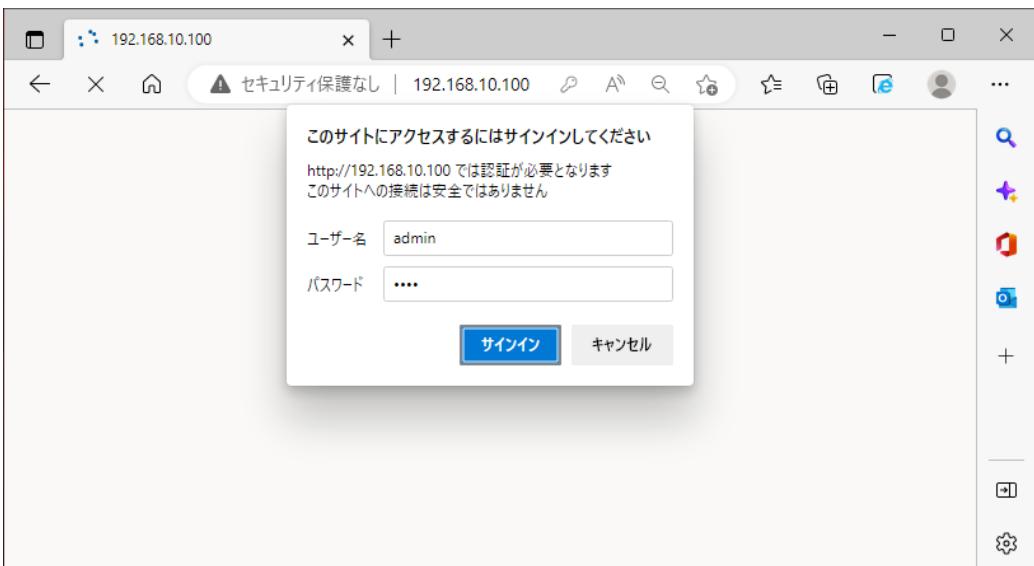
IP アドレス : 192.168.10.100/24
ユーザ名 : admin
パスワード : 1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.10.100”を入力して接続します。

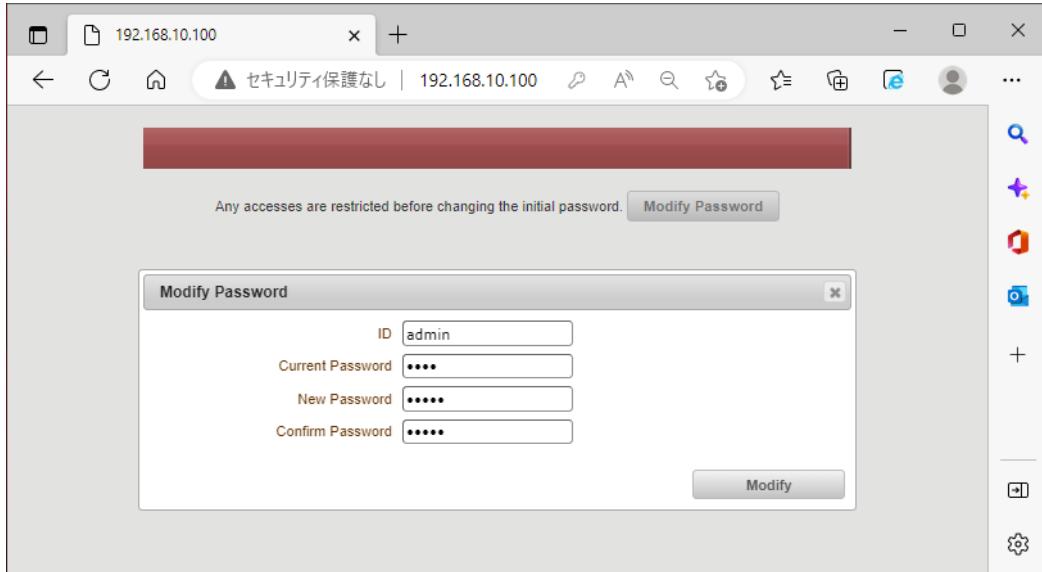


2. ユーザ名とパスワードを入力して、”サインイン”をクリックします

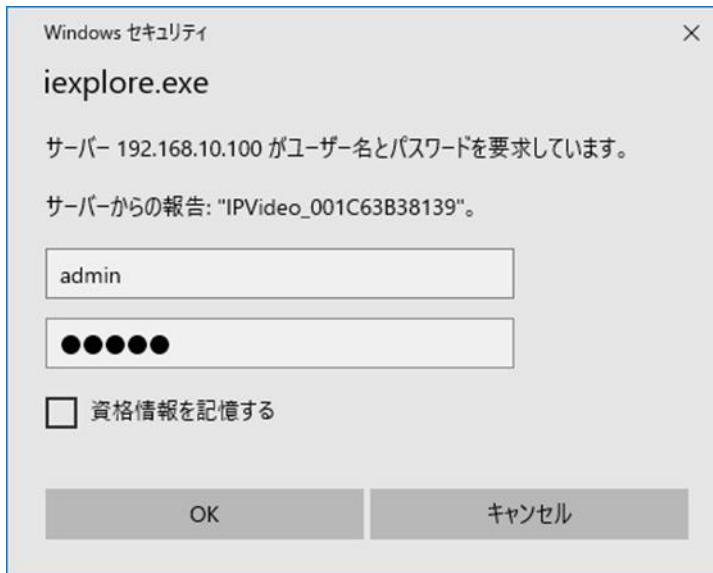


3. 初期パスワードの変更を必ず行います。(Modify Password をクリック)

Current Password には初期値の 1234 を入力します。New/Confirm Password には初期値以外の新しいパスワードを入力し、Modify をクリックしてパスワードを変更します。



4. 再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、上記 3 で設定した新しいパスワードでログインします。



5. ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。



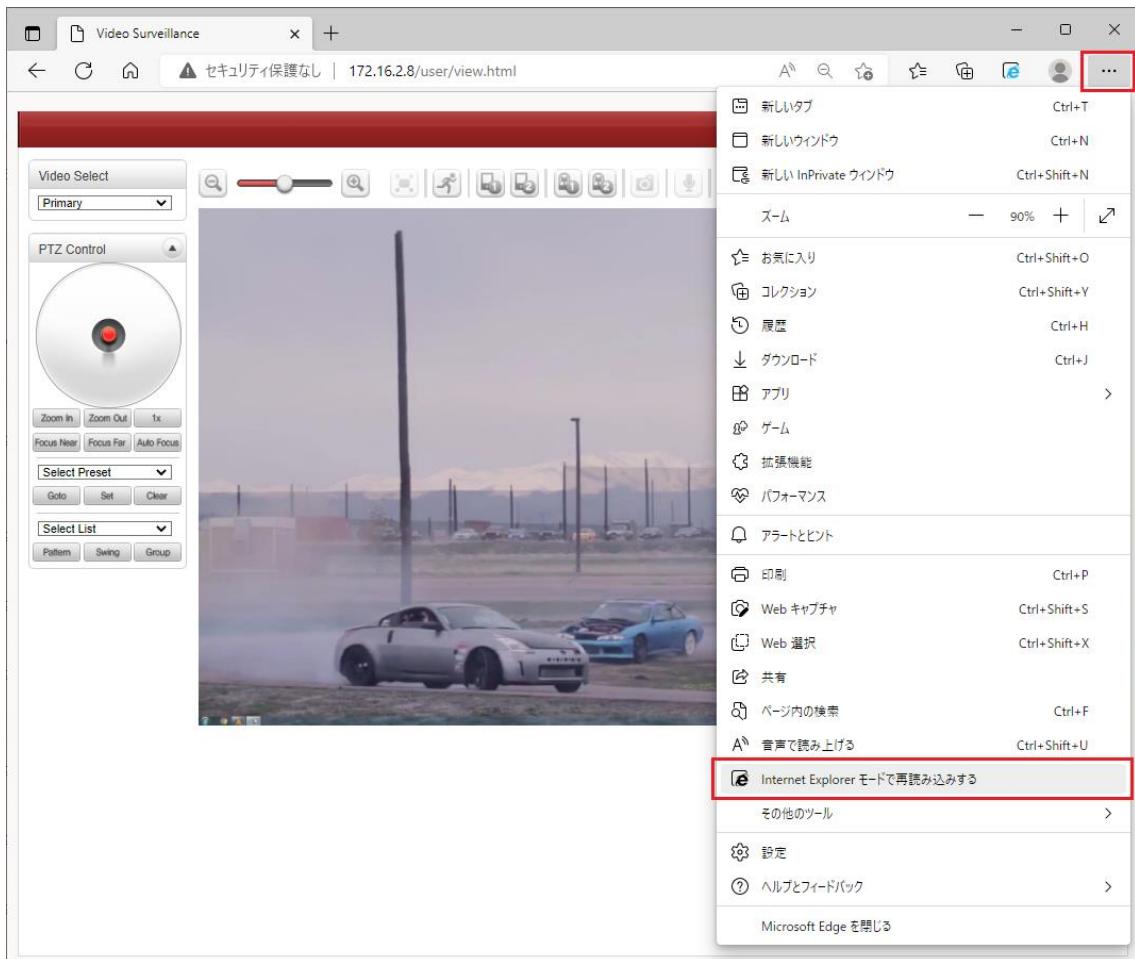
- Internet Explorer モード (IE モード)

設定方法

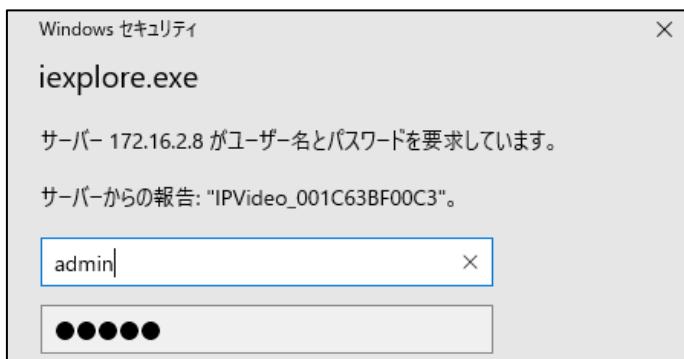
1. Microsoft Edge ブラウザで、上記のログイン手順に従って TCS-9500 にログインします。

2. 右上の「…」をクリックします。

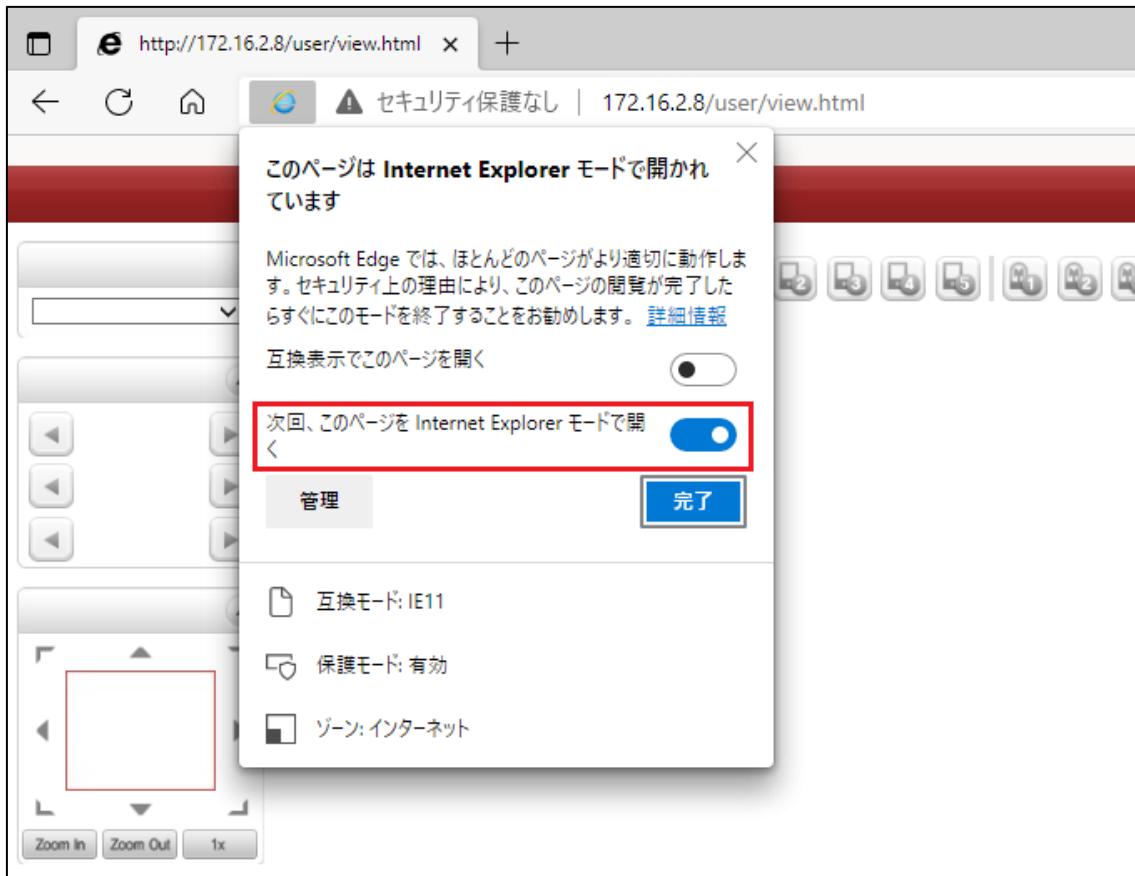
タブの中から「Internet Explorer モードで再度読み込みする」を選択します。



3. ユーザ名とパスワードを求められるので、再度ログインします。



4. 「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にし、完了をクリックします。
次回以降 Edge でログインすると、自動的に Internet Explorer モードで開きます。



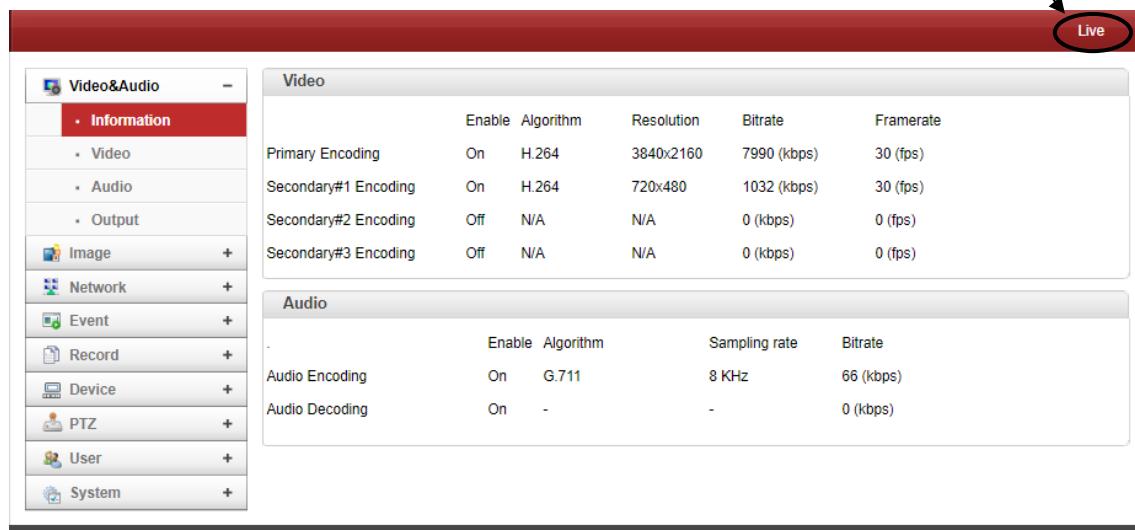
注意事項

Microsoft Edge の Internet Explorer モードでは、Live メニューの「File Record」および「Snapshot」はご使用になれません。必要な場合は、「Chrome」または「Edge の通常モード」でご使用ください。

7. メニューの切り替え方法

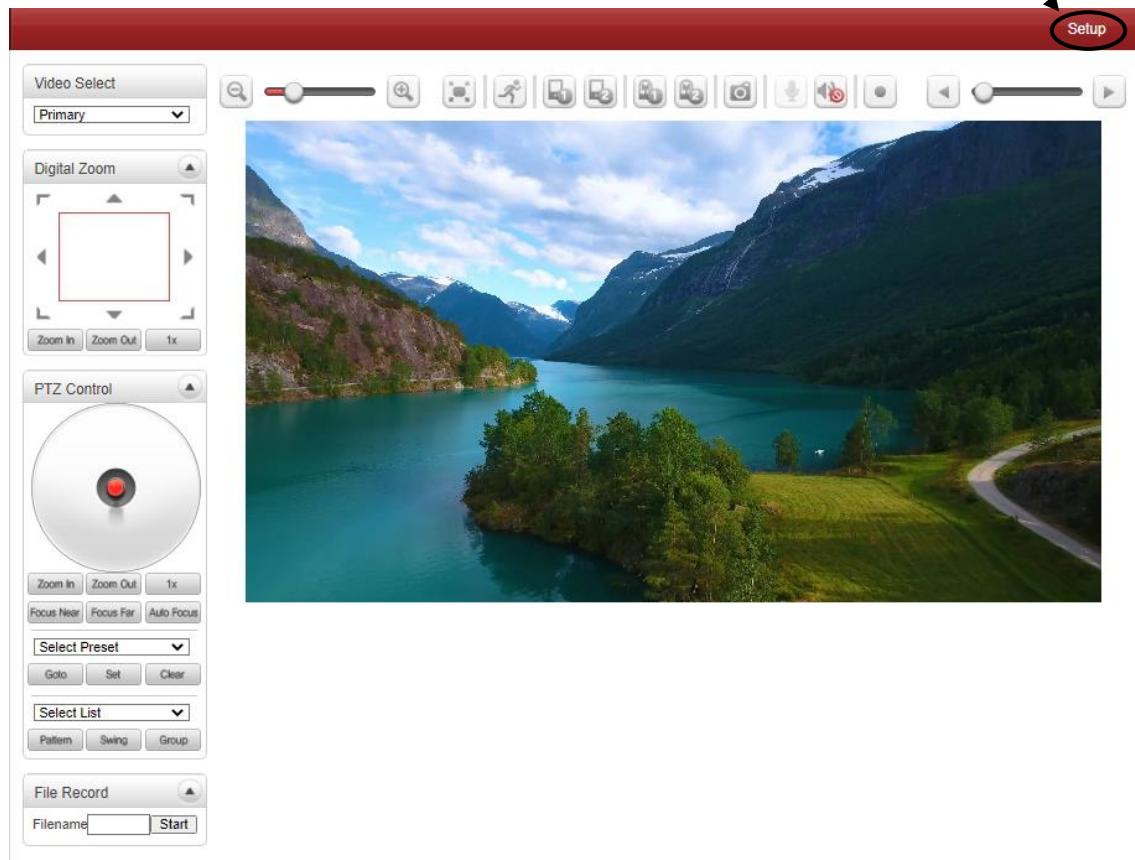
7.1. Setup メニューから LIVE メニューへの切り替え

画面右上の”Live”をクリックします。



7.2. LIVE メニューから Setup メニューへの切り替え

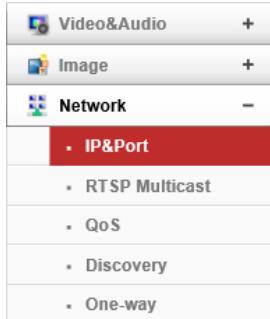
画面右上の”Setup”をクリックします。



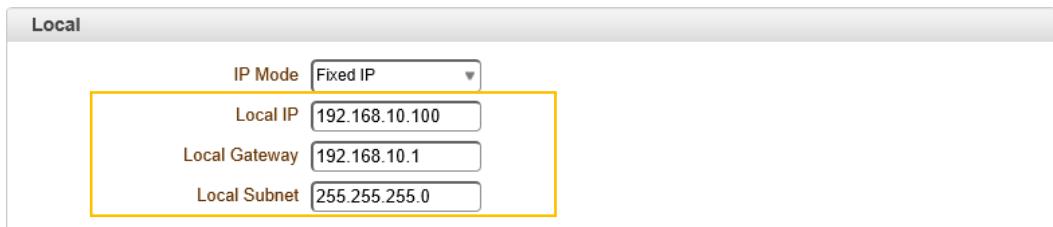
8. 基本設定

8.1. IP アドレスの変更

1. Network の“IP&Port”をクリックします。



2. Local IP (IP アドレス)、Local Gateway (デフォルトゲートウェイ)、Local Subnet (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。

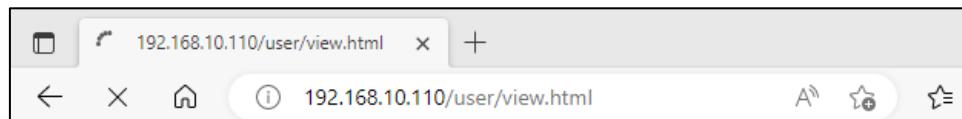


※IP Mode を DHCP にした場合、Local 設定は入力できません。

3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

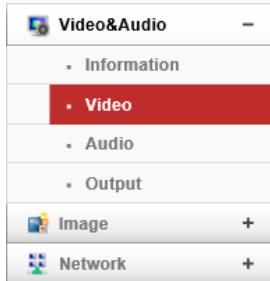
※本機は自動で再起動します。

4. ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力しログインします。



8.2. 映像入力インターフェースの変更

1. Video&Audio の“Video”をクリックします。



2. **Input Format** で映像入力するインターフェースを選択します。

また、**Input Auto Detect** をクリックするとインターフェースを自動検出します。



※Input Auto Detect は Video Input Auto Detect が Off の場合のみ使用可能。

3. Input Auto Detect をクリックした場合、以下に表示されている HDMI を選択します。



4. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

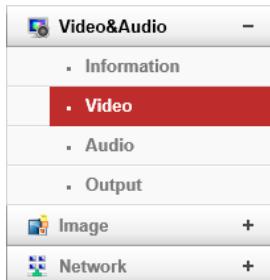
注意事項

Input Format と Detected Format は、同じフォーマットに設定する必要があります。

異なるフォーマットに設定した場合、エンコード映像が正しく表示されない可能性があります。

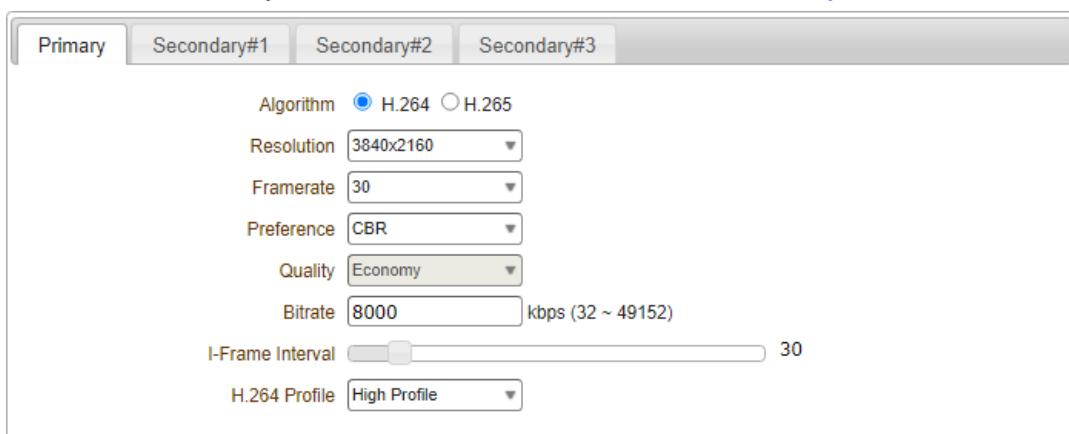
8.3. エンコードの設定

1. Video&Audio の“Video”をクリックします。



2. Algorithm(圧縮方式)、Resolution(解像度)、Framerate(フレームレート)などを設定します。

Preference が CBR・Hybrid の場合は Bitrate を、VBR の場合は Quality の設定をします。



※入力映像によって解像度、フレームレートの設定範囲が異なります。

3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

8.4. Normal モードでの接続

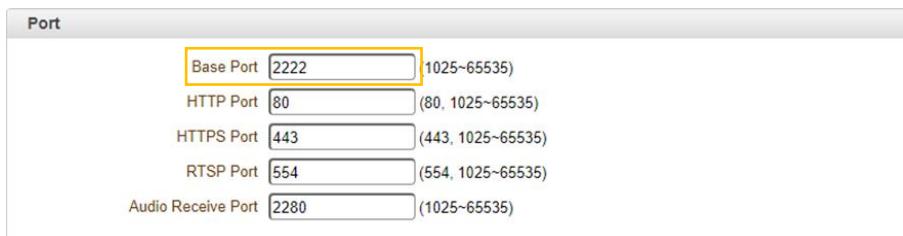
TCS 独自の接続方法となります。デコーダは TCS-1700 または TCS-8500 をご使用ください。

TCS-9500(エンコーダ)の設定

1. Network の“[IP&Port](#)”をクリックします。



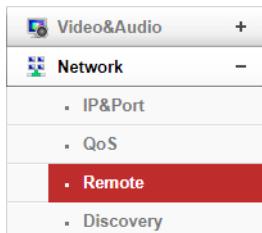
2. Port 設定にて、[Base Port](#) を確認します。(初期値: 2222)



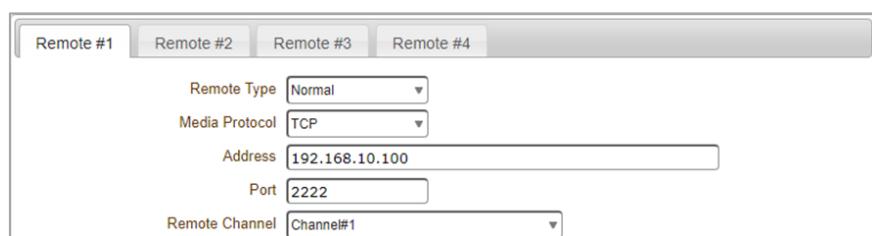
3. Base Port を変更した場合、画面右下の [Apply](#) をクリックし、設定を反映させます。
※本機は自動で再起動します。

TCS-1700/TCS-8500(デコーダ)の設定

1. Network の“[Remote](#)”を開きます。



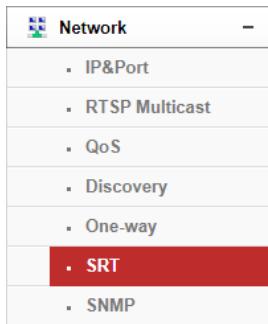
2. Remote Type は“[Normal](#)”を選択し、[Address](#) に TCS-9500 の IP アドレス、[Port](#) に TCS-9500 の Base Port 番号を入力し、[Apply](#) をクリックすると接続できます。



8.5. SRT での映像配信

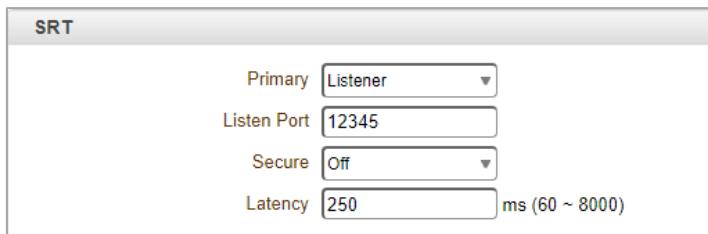
TCS-9500(エンコーダ)の設定

1. Network の“SRT”をクリックします。

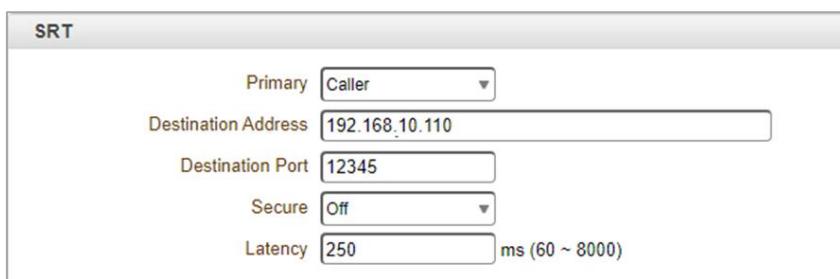


2. Listener を選択した場合、Listen Port を設定します。

Secure(暗号化)と Latency(遅延)は必要に応じて設定してください。



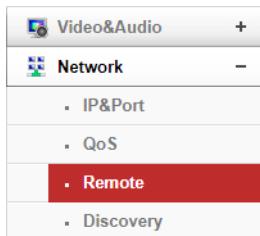
Caller を選択した場合、Destination Address にデコーダの IP アドレス、Destination Port にデコーダと同じポート番号を設定します。



3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

TCS-1700/TCS-8500(デコーダ)の設定

1. Network の“Remote”を開きます。

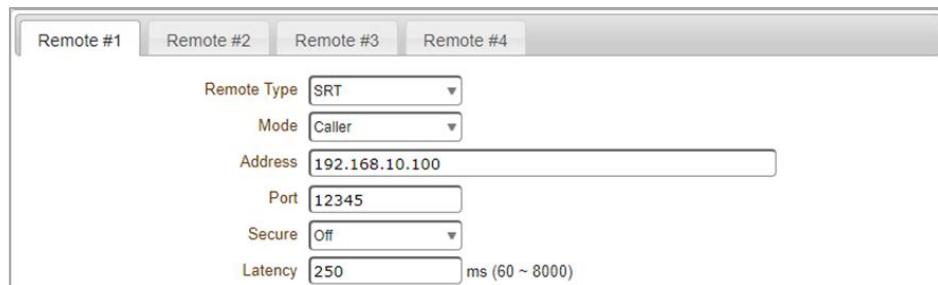


2. Remote Type は“SRT”を選択します。

TCS-9500 が Listener の場合

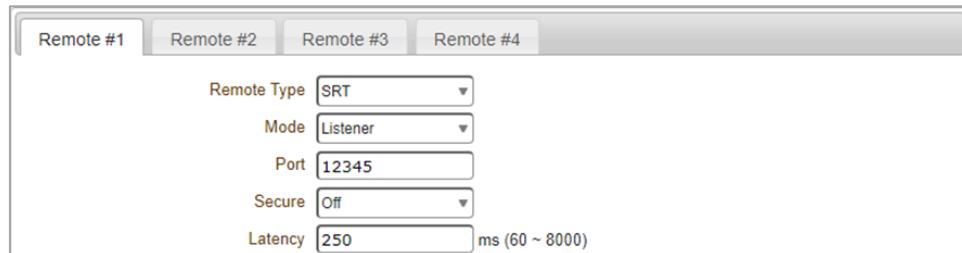
デコーダ側は Caller を選択します。

Address に TCS-9500 の IP アドレス、Port に TCS-9500 の Listen Port に設定したポート番号を入力し、**Apply** をクリックすると接続できます。

TCS-9500 が Caller の場合

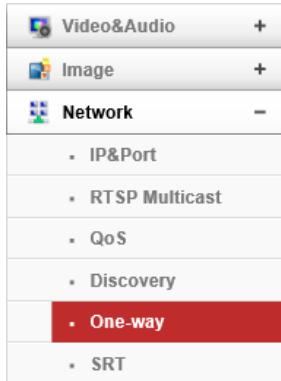
デコーダ側は Listener を選択します。

Port に TCS-9500 の Destination Port に設定したポート番号を入力し、**Apply** をクリックすると接続できます。



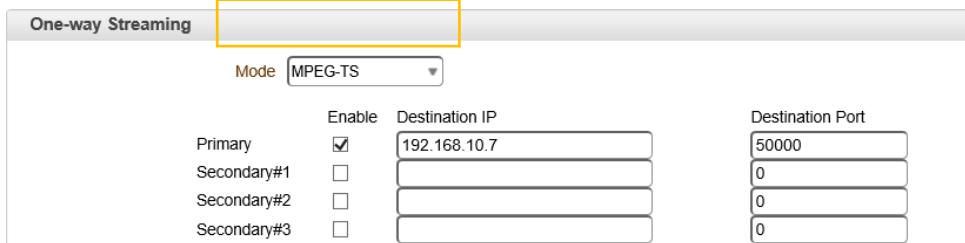
8.6. MPEG-TS での映像配信

1. Network の“**One-way**”をクリックします。



2. Mode を **MPEG-TS** にします。

Destination IP には映像受信側(デコーダ)の IP アドレス、**Port** は受信するポート番号を入力します。



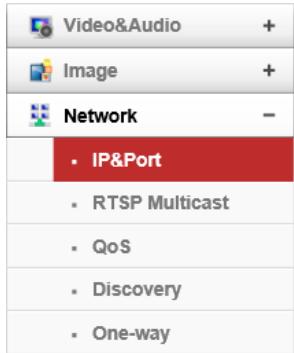
3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

4. デコーダには、ストリーム URL “**udp://@:<port>**”を入力し再生します。

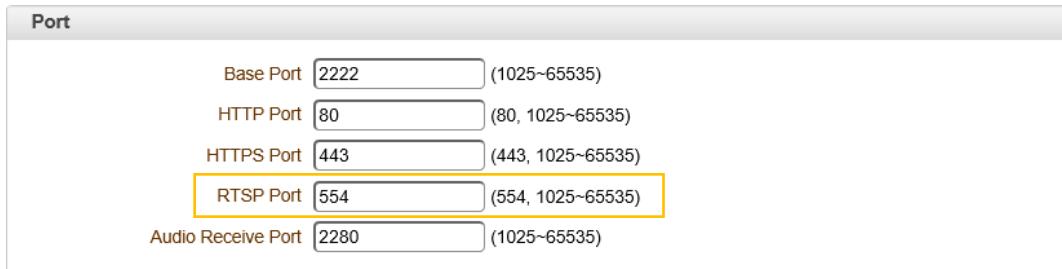
※port : One-way Streaming で設定した Destination Port を入力

8.7. RTSP サーバでの映像配信

1. Network の“IP&Port”をクリックします。



2. **RTSP Port** に RTSP で使用するポート番号を入力します。(初期値:554)



3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。
 4. デコーダには、ストリーム URL “<rtsp://<IP Address>:<RTSP Port>/video1>”と入力し再生します。
- ※IP Address : TCS-9500 の IP アドレス

8.8. RTSP ストリーム URL 一覧

RTSP ストリーム URL を示します。

映像	音声	ストリームアドレス
Primary	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1+audio1
Primary	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1
Secondary#1	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s1+audio1
Secondary#1	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s1
Secondary#2	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s2+audio1
Secondary#2	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s2
Secondary#3	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s3+audio1
Secondary#3	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s3
Secondary#4	有り	rtsp://192.168.10.100:554/video1s4+audio1
Secondary#4	無し	rtsp://192.168.10.100:554/video1s4
無し	有り	rtsp://192.168.10.100:554/audio1

※上記の例は、IP アドレス及び RTSP ポート番号が初期値である場合の URL です。

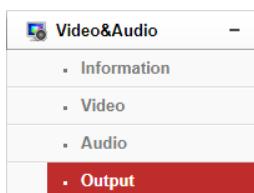
8.9. 双方向 IP 音声伝送

双方向音声伝送の設定を行います。設定は、エンコーダ/デコーダ共通となります。

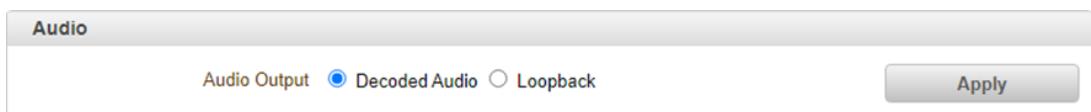
デコーダは TCS-1700 または TCS-8500 である必要があります。

※「8.4」または「8.5」に倣い、Normal または SRT で接続できていることを確認してください。

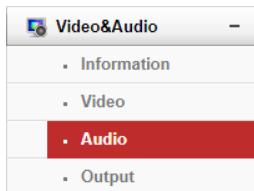
1. Video&Audio の“Output”をクリックします。



2. Audio Output は Decoded Audio を選択して、 をクリックし、設定を反映させます。



3. 次に、Video&Audio の“Audio”をクリックします。



4. Audio Source と Algorithm を設定し、Mode は Tx & Rx を選択します。

をクリックし、設定を反映させます。



注意事項

双方向音声を使用する時は、エンコーダとデコーダの Algorithm を合わせる必要があります。

また、音声は基本モノラルとなります。

Algorithm を AAC に設定した場合、TCS-9500→TCS-1700 の音声のみステレオになります。

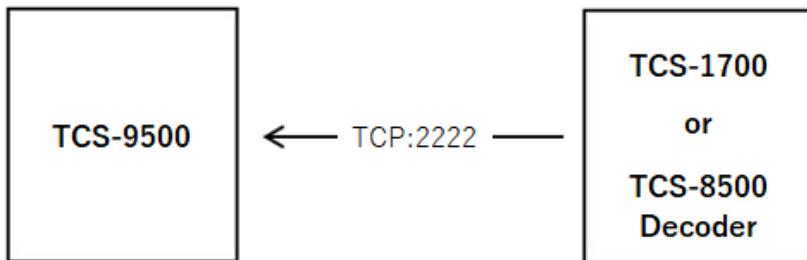
8.10. ポート開放の設定

WAN 経由で通信を行う場合は、ルータでポートフォワーディングの設定を行う必要があります。

※下記の例は、TCS-9500 のポート設定が初期状態の場合のものです。

- Normal (TCS-9500 → TCS-1700 / TCS-8500 Decoder)

- TCP Port 554 : TCS-9500 ← TCS-1700 / TCS-8500 Decoder
エンコーダ側のルータで TCP:2222 をポートフォワーディングします。

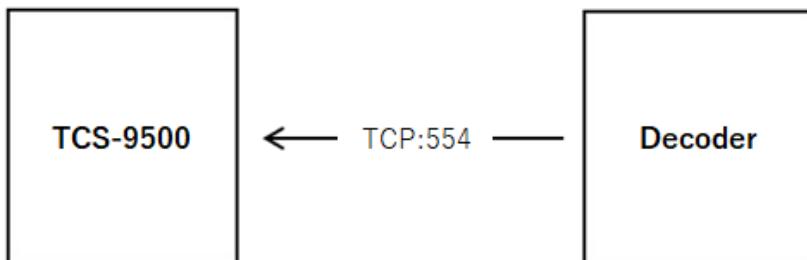


※WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択してください。(デコーダ側の設定)

※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の Base Port で変更可能です。

- RTSP (TCS-9500 → Decoder)

- TCP Port 554 : TCS-9500 ← Decoder
エンコーダ側のルータで TCP:554 をポートフォワーディングします。

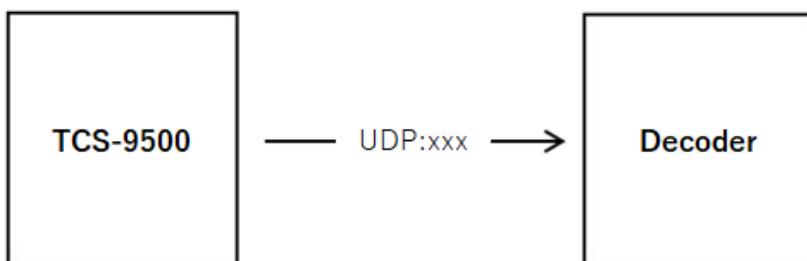


※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の RTSP Port で変更可能です。

- MPEG-TS (TCS-9500 → Decoder)

- UDP Port xxxx : TCS-9500 → Decoder

デコーダ側のルータで、指定した UDP ポートをポートフォワーディングします。

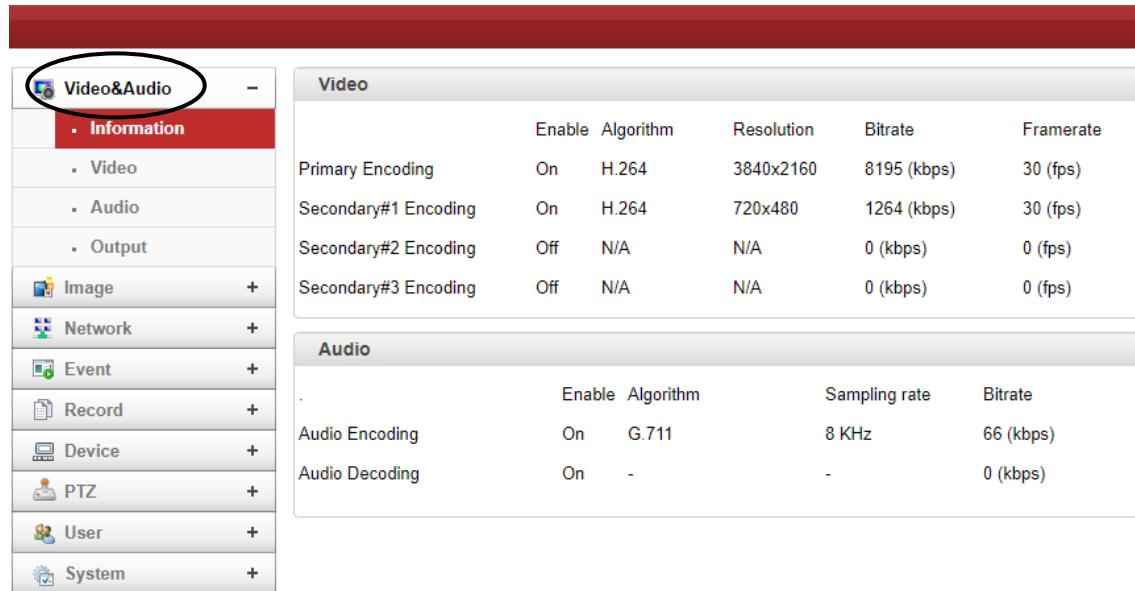


※ ポートの指定は、Network > One-way の MPEG-TS 設定にて行います。

9. Setup メニュー

9.1. Video&Audio

Setup メニュー画面から”Video&Audio”タブをクリックします。



Video					
	Enable	Algorithm	Resolution	Bitrate	Framerate
Primary Encoding	On	H.264	3840x2160	8195 (kbps)	30 (fps)
Secondary#1 Encoding	On	H.264	720x480	1264 (kbps)	30 (fps)
Secondary#2 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
Secondary#3 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)

Audio				
	Enable	Algorithm	Sampling rate	Bitrate
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	66 (kbps)
Audio Decoding	On	-	-	0 (kbps)

➤ Video&Audio メニュー

表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
Video	ビデオ入力形式の選択、解像度やビットレートなどの設定を行います。
Audio	オーディオ入力の設定を行います。
Output	オーディオ出力の設定を行います。

9.1.1. Information

Video&Audio	-
<ul style="list-style-type: none"> <li style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; vertical-align: middle; margin-right: 5px;"> <li style="display: inline-block; vertical-align: middle;">Information 	
<ul style="list-style-type: none"> <li style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; vertical-align: middle; margin-right: 5px;"> <li style="display: inline-block; vertical-align: middle;">Video 	
<ul style="list-style-type: none"> <li style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; vertical-align: middle; margin-right: 5px;"> <li style="display: inline-block; vertical-align: middle;">Audio 	
<ul style="list-style-type: none"> <li style="display: inline-block; width: 15px; height: 15px; vertical-align: middle; margin-right: 5px;"> <li style="display: inline-block; vertical-align: middle;">Output 	
Image	
Network	
Event	
Record	
Device	
PTZ	
User	
System	

Video

	Enable	Algorithm	Resolution	Bitrate	Framerate
Primary Encoding	On	H.264	3840x2160	8120 (kbps)	30 (fps)
Secondary#1 Encoding	On	H.264	720x480	975 (kbps)	30 (fps)
Secondary#2 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)
Secondary#3 Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)	0 (fps)

Audio

	Enable	Algorithm	Sampling rate	Bitrate
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	66 (kbps)
Audio Decoding	On	-	-	0 (kbps)

表示	説明
Video	ビデオ(Primary/Secondary#1-3)のエンコーディング情報を表示します。
Audio	オーディオのエンコーディング・デコーディング情報を表示します。

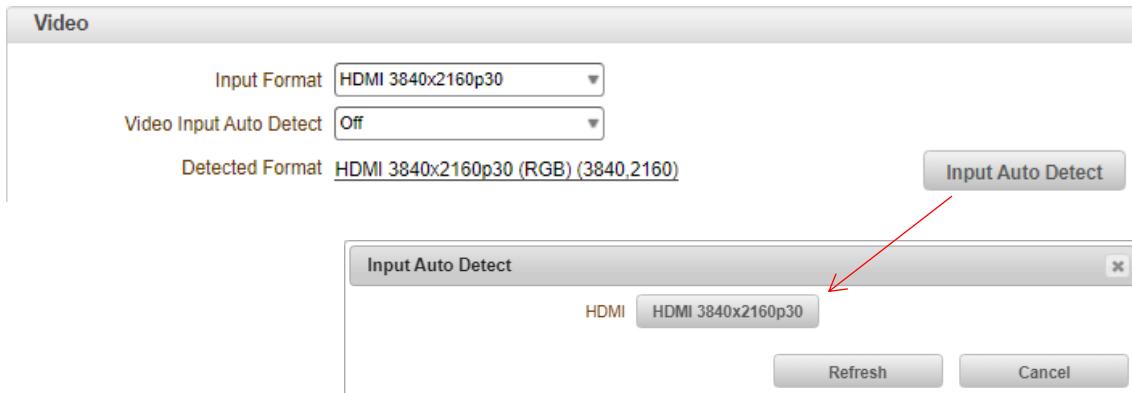
9.1.2. Video

- **Performance Calculation**

表示	説明
Performance Usage Rate	本機のパフォーマンス使用率を表示します。 この値が 100%を越えないように”Video”の設定を行います。

〈例〉最大エンコードパフォーマンス ⇒ Primary:3840x2160p60 + Secondary#1:1920x080p30

- Video



表示	説明
Input Format	リストから入力形式を選択します。[Max:3840x2160p60]
Video Input Auto Detect	ビデオの検出モードを選択します。 Off: 手動で入力形式を選択するか、Input Auto Detect ボタンをクリックして入力形式を検出させます。 Full Auto: 自動検出し、エンコーディング解像度を固定します。 Semi Auto: 自動検出し、エンコーディング解像度を選択できます。
Input Auto Detect	クリックすると、適切な入力形式を検出できます。 Video Input Auto Detect 設定が “Off” の場合のみ使用可能です。

※Input Format と Detected Format は、同じフォーマットに設定する必要があります。

異なるフォーマットに設定した場合、エンコード映像が正しく表示されない可能性があります。

Primary

Primary	Secondary#1	Secondary#2	Secondary#3
Algorithm <input checked="" type="radio"/> H.264 <input type="radio"/> H.265 Resolution 3840x2160 Framerate 30 Preference CBR Quality Economy Bitrate 8000 kbps (32 ~ 49152) I-Frame Interval 30 H.264 Profile High Profile			

表示	説明
Algorithm	H.264 または H.265 から圧縮方式を選択します。
Resolution	ビデオのエンコード解像度を選択します。[Max:3840x2160]
Framerate	1秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max:60] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
Preference	エンコードモードを選択します。 ビデオ品質(VBR)またはビットレート(CBR, Hybrid)を制御します。
Quality	ビデオ品質を設定します。[8段階] Preferenceで“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
Bitrate	ビットレート値を設定します。[32~49152kbps] Preferenceで“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 ビットレートの制限を守るため、入力映像の変化に応じてビデオ品質も変動させます。 Preferenceで“Hybrid”を選択した場合、最大ビットレートを設定できます。 入力映像が最大ビットレート値に達しない場合、自動的にビットレートを下げる等、帯域幅を効率的に制御することができます。 ※再生モード(RTSP/MPEG-TS/SRT)によっては、映像が乱れることがあります。Bitrateを調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-Frame Interval	I-Frameを送信する間隔を設定します。[0~255]
H.264 Profile	AlgorithmでH.264を選択した場合、プロファイルをHigh Profile/Main Profile/Baseline Profileから選択します。

Secondary #1～#3

Primary	Secondary#1	Secondary#2	Secondary#3
Enable <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On ROI Encoding <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On Algorithm <input checked="" type="radio"/> H.264 <input type="radio"/> MJPEG <input type="radio"/> H.265 Resolution <input type="button" value="320x240"/> Framerate <input type="button" value="30"/> Preference <input type="button" value="CBR"/> Quality <input type="button" value="Economy"/> Bitrate <input type="text" value="1024"/> kbps (32 ~ 4096) I-Frame Interval <input type="button" value="30"/> H.264 Profile <input type="button" value="High Profile"/>			

表示	説明
Enable	Secondary を使用する場合は ON にします。
ROI Encoding	ROI の有効(On)/無効(Off)を選択します。 有効の場合、View 画面上で選択した範囲のみをエンコードします。 ビットレート及びストレージのコストを 30%以上削減できます。
Algorithm	H.264 または H.265、MJPEG から圧縮方式を選択します。※1
Resolution	ビデオのエンコード解像度を選択します。[Max:3840x2160]
Framerate	ビデオストリームの 1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max:60] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
Preference	エンコードモードを選択します。 ビデオ品質(VBR)またはビットレート(CBR, Hybrid)を制御します。
Quality	ビデオ品質を設定します。[8 段階] Preference で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
Bitrate	ビットレート値を設定します。[32-4096kbps] Preference で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 Preference で“Hybrid”を選択した場合、最大ビットレートを設定できます。 ※再生モード(RTSP/MPEG-TS/SRT)によっては映像が乱れることがあります。Bitrate を調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-Frame Interval	I-Frame を送信する間隔を設定します。[0-255]

H.264 Profile

Algorithm で H.264 を選択した場合、プロファイルを選択します。

※1 MJPEG の注意事項

- ① 最大解像度は Full HD、Normal/RTSP/ONVIF での映像伝送をサポートします。

MPEG-TS/SRT/RTMP での映像伝送は未サポートのため、ご使用になれません。

- ② MJPEG 選択時の Preference は VBR のみサポートとなるため、ビットレートは設定できません。

(Full HD/60fps、Quality=Ultra Fine のとき、エンコードビットレートは 65Mbps 程度) 映像による

ROI Encoding

Secondary#1-3 では、ROI(閑心領域)を設定できます。

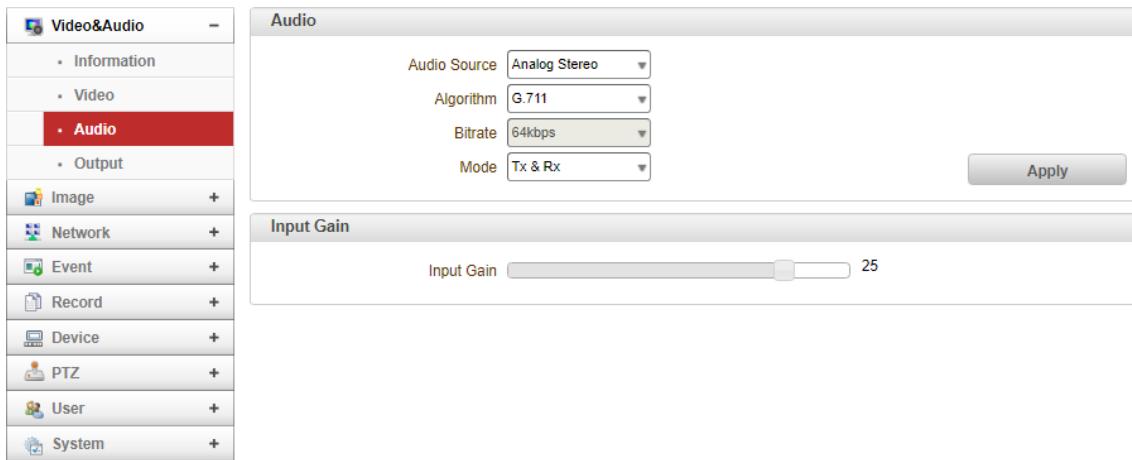
- ① ROI Enable を On(有効)にします。

- ② View 画面上でドラッグをすると、ROI の範囲を指定できます。(オレンジと黄色の点滅した枠)
ここでは指定した領域内をエンコードします。



- ③ ROI 設定が完了しましたら、Apply をクリックします。

9.1.3. Audio



- **Audio**



表示	説明
Audio Source	オーディオソースを選択します。 Embedded Audio: 映像に音声信号を組み込む(HDMI 入力) Analog Stereo: 映像と音声を別々に入力(AUDIO 入力)
Algorithm	G.711 または AAC を選択します。※1
Sampling rate	サンプリング周波数を選択します。[32kHz/44.1kHz/48kHz]
Bitrate	ビットレートを選択します。[32kbps/64kbps/128kbps/192kbps]
Mode	オーディオ動作モードを Off(送受信なし)、Tx-only(送信のみ)、Rx-only(受信のみ)、Tx & Rx(送受信)から選択します。

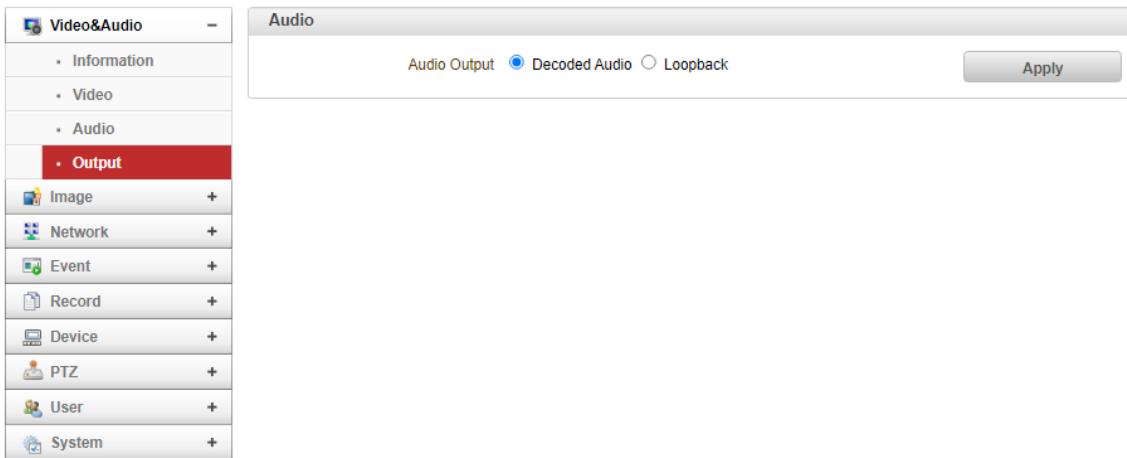
※1 エンコード音声について [AAC:ステレオ音声 / G.711:モノラル音声]

- **Input Gain**

AUDIO IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0—31]



9.1.4. Output



- **Audio**

Audio

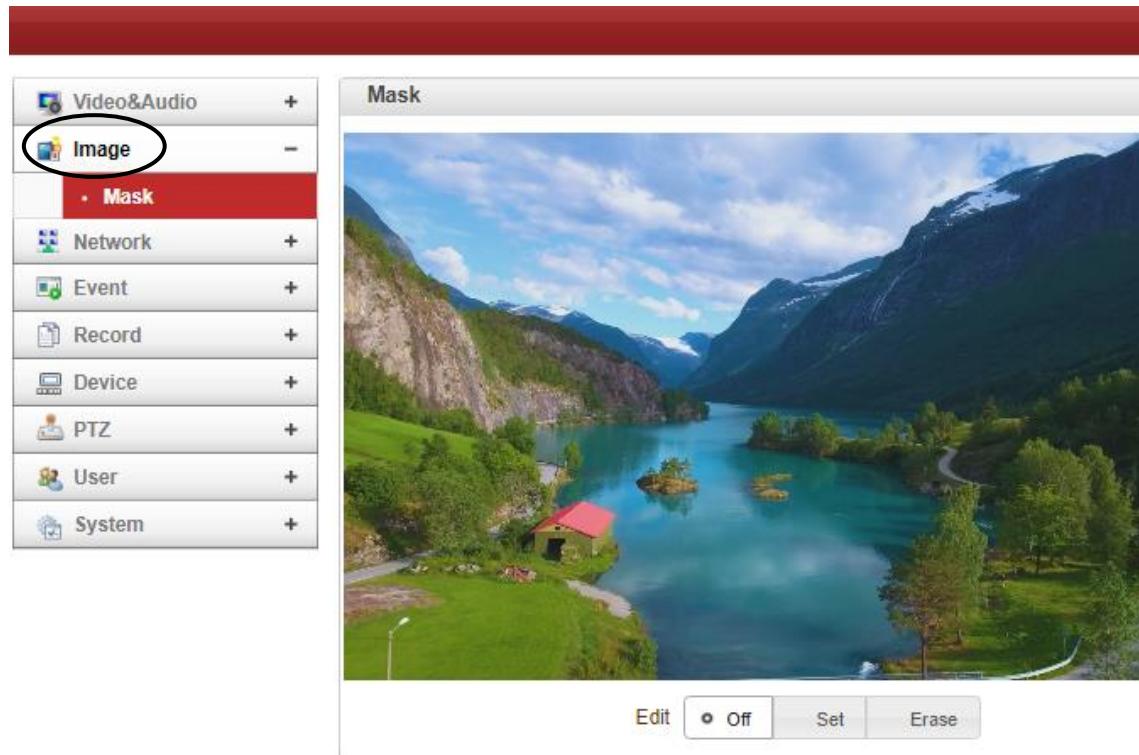
Audio Output Decoded Audio Loopback Apply

表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 Decoded Audio: 入力した音声は LAN 経由でデコーダに送信されます。 Loopback: 入力した音声をループバックし、TCS-9500 の AUDIO OUT ポートから出力します。

※HDMI OUT ポートは、HDMI IN の音声をループアウト

9.2. Image

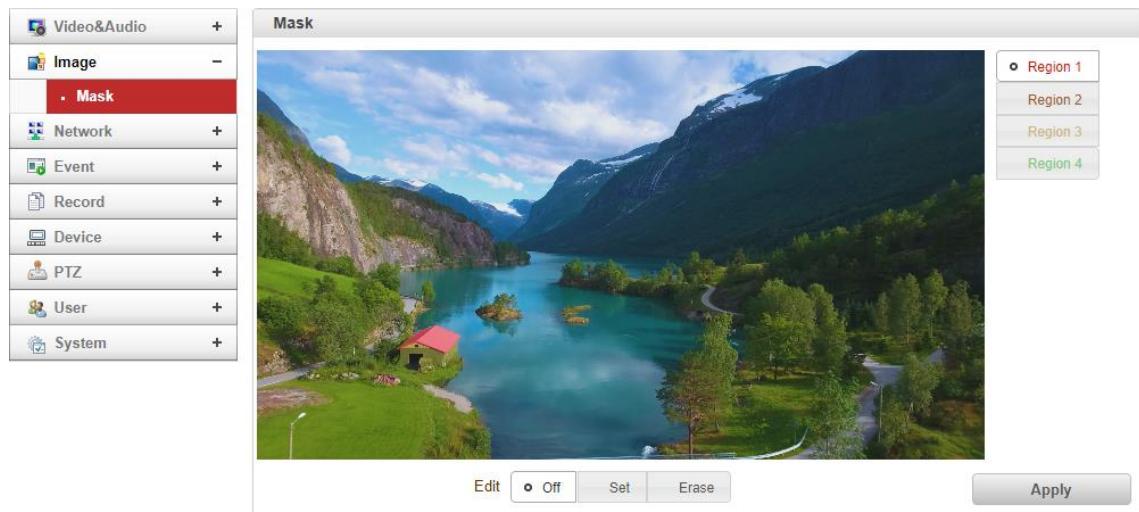
Setup メニュー画面から”Image”タブをクリックします。



➤ Image メニュー

表示	説明
Mask	指定した領域を非表示(隠す)ことができます。

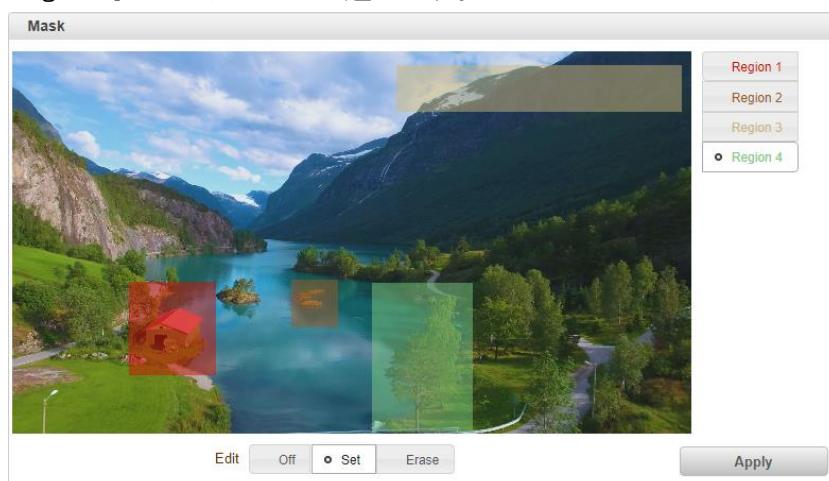
9.2.1. Mask



表示	説明
Edit	Off: マスク設定を無効にします。 Set: マスク(非表示にする領域)を指定します。 Erase: マスクを削除します。
Region 1~4	マスクの領域は最大 4 カ所に設定できます。

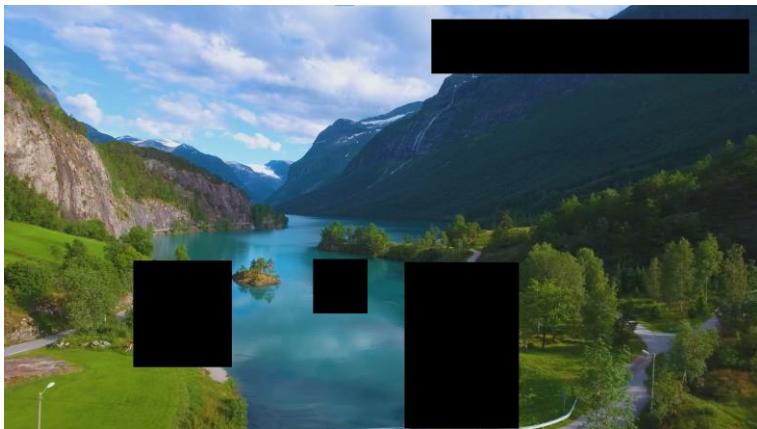
Mask の追加

- ① Edit より“Set”を選択します。
- ② Region 1~4 を選択し、画面上で非表示にする領域をドラッグして指定します。
Region 毎にボックスの色が違います。



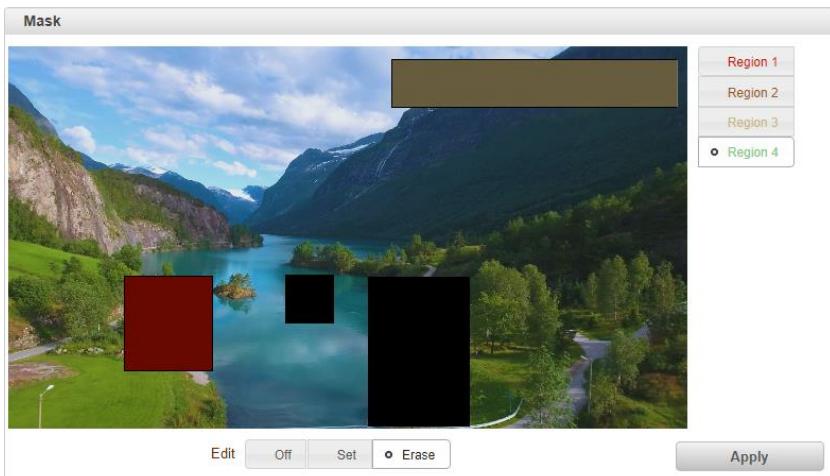
- ③ Apply ボタンをクリックします。

- ④ 再生画面では、指定した領域は黒色のボックスで隠されています。

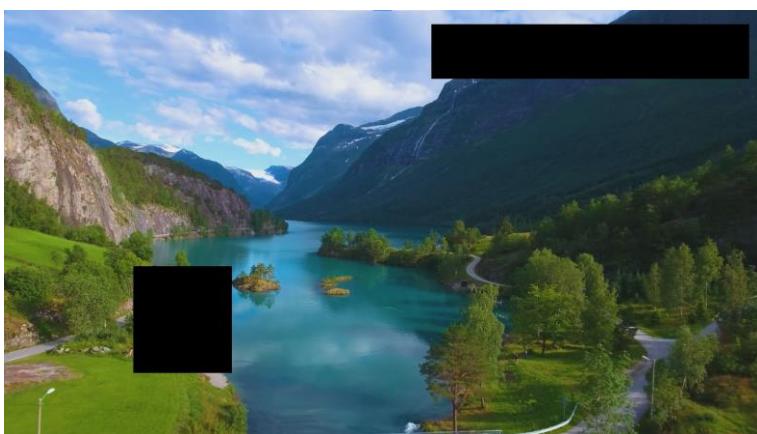


Mask の削除

- ① Edit より“Erase”を選択します。
- ② 画面上の削除したい Region 領域をクリックすると、色付きボックスから黒色のボックスに変わります。

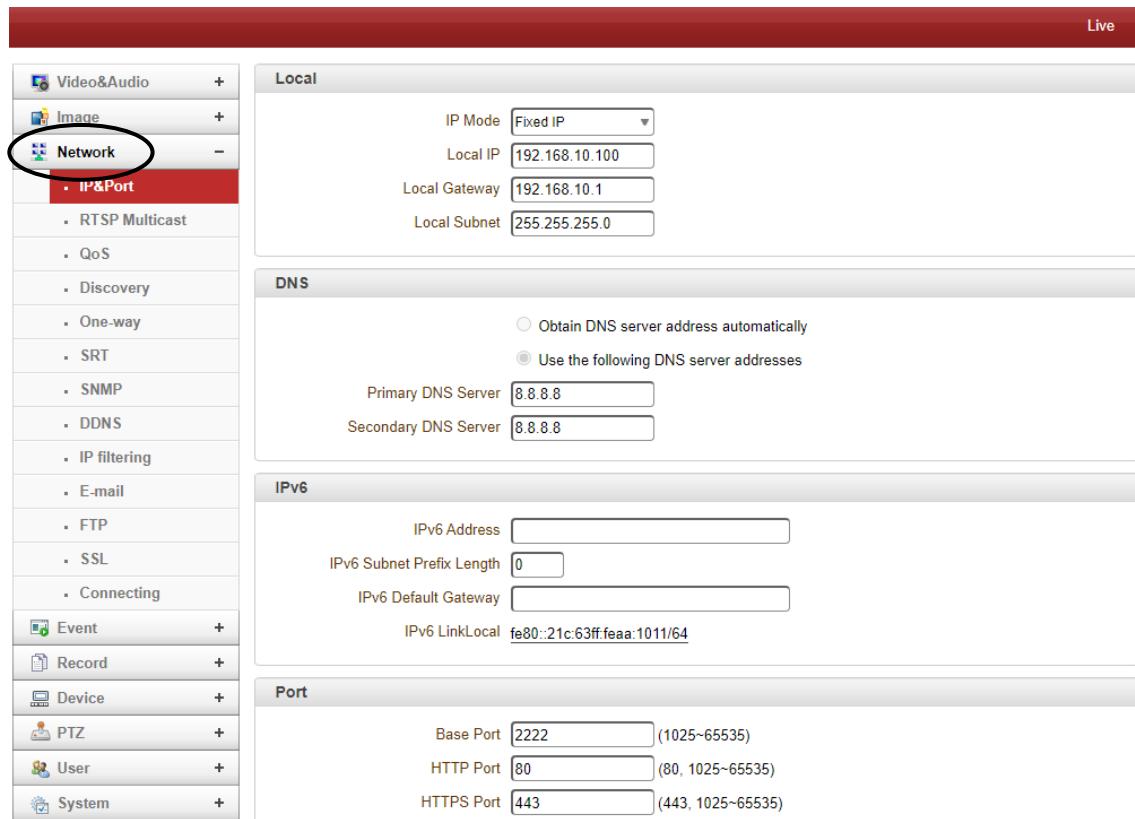


- ③ Apply ボタンをクリックします。
- ④ Mask 画面上からも、再生画面からも黒色のボックスが削除されます。



9.3. Network

Setup メニュー画面から"Network"タブをクリックします。



➤ Network メニュー

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
RTSP Multicast	RTSP マルチキャストの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Discovery	UPnP などの設定を行います。
One-way	片方向ストリーミング(MPEG-TS、RTMP)の設定を行います。
SRT	SRT の設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
IP filtering	データのやり取りを行う相手の制限を行います。
E-mail	Event が起きた際の通知 E-mail の送信設定を行います。
FTP	FTP アップロードの設定を行います。
SSL	SSL の設定を行います。
Connecting	現在システムに接続しているクライアントを表示します。

9.3.1. IP&Port

- + Video&Audio
- + Image
- Network
- + IP&Port
- + RTSP Multicast
- + QoS
- + Discovery
- + One-way
- + SRT
- + SNMP
- + DDNS
- + IP filtering
- + E-mail
- + FTP
- + SSL
- + Connecting
- + Event
- + Record
- + Device
- + PTZ
- + User
- + System

Local

IP Mode: Fixed IP
 Local IP: 192.168.10.100
 Local Gateway: 192.168.10.1
 Local Subnet: 255.255.255.0

DNS

Obtain DNS server address automatically
 Use the following DNS server addresses
 Primary DNS Server: 8.8.8.8
 Secondary DNS Server: 8.8.8.8

IPv6

IPv6 Address:
 IPv6 Subnet Prefix Length: 0
 IPv6 Default Gateway:
 IPv6 LinkLocal: fe80::21c:63ff:fea:1011/64

Port

Base Port: 2222 (1025~65535)
 HTTP Port: 80 (80, 1025~65535)
 HTTPS Port: 443 (443, 1025~65535)
 RTSP Port: 554 (554, 1025~65535)
 Audio Receive Port: 2280 (1025~65535)

MTU Size

MTU Size: 1500 (default:1500, 68~)

Multicast

Multicast IP: 224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
 TTL: 64 (1~255)

- Local

Local

IP Mode	Fixed IP
Local IP	192.168.10.100
Local Gateway	192.168.10.1
Local Subnet	255.255.255.0

表示	説明
IP Mode	Fixed IP(手動設定)または DHCP(自動取得)を選択します。
Local IP	IP アドレスを設定します。 初期値: 192.168.10.100
Local Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値: 192.168.10.1
Local Subnet	サブネットマスクを設定します。 初期値: 255.255.255.0

※Local 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- DNS

DNS

<input type="radio"/> Obtain DNS server address automatically	
<input checked="" type="radio"/> Use the following DNS server addresses	
Primary DNS Server	8.8.8.8
Secondary DNS Server	8.8.8.8

表示	説明
Obtain DNS Server Address automatically	IP モードが DHCP の場合、自動的に DNS サーバのアドレスを取得します。
Use the following DNS server address	DNS サーバのアドレスを入力します。
Primary DNS Server	Primary の DNS サーバのアドレスを入力します。
Secondary DNS Server	Secondary の DNS サーバのアドレスを入力します。

※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- IPv6

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

IPv6

IPv6 Address

IPv6 Subnet Prefix Length

IPv6 Default Gateway

IPv6 LinkLocal fe80::21c:63ff:febf:c3/64

- Port

Port

Base Port (1025~65535)

HTTP Port (80, 1025~65535)

HTTPS Port (443, 1025~65535)

RTSP Port (554, 1025~65535)

Audio Receive Port (1025~65535)

表示	説明
Base Port	ベースポート番号を入力します。 初期値:2222[1025~65535] ※変更した場合、本機は自動で再起動を行います。
HTTP Port	Web ベースの接続に使用する HTTP ポート番号を入力します。 初期値:80[1025~65535]
HTTPS Port	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値:443[1025~65535]
RTSP Port	RTSP ベースの接続に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値:554[1025~65535]
Audio Receive Port	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

- MTU Size

MTU Size	
表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値:1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- Multicast

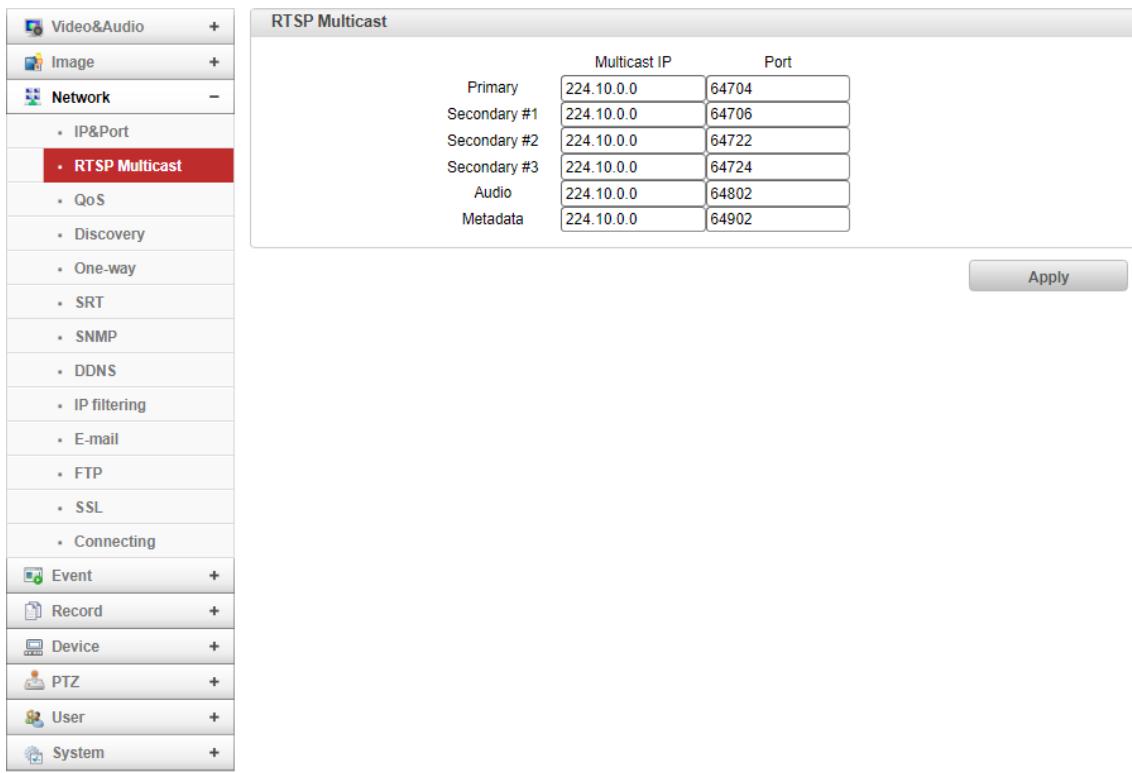
本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

Multicast	
Multicast IP	224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	64 (1~255)

※Multicast 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

9.3.2. RTSP Multicast

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.3.3. QoS

Video&Audio +

Image +

Network -

- IP&Port
- RTSP Multicast
- QoS**
- Discovery
- One-way
- SRT
- SNMP
- DDNS
- IP filtering
- E-mail
- FTP
- SSL
- Connecting

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

QoS

QoS Enable: Off

Apply

- QoS

QoS

QoS Enable: On

DSCP: 0 (0~63)

Apply

表示	説明
QoS Enable	QoS を有効にする場合、On にします。
DSCP	DSCP の値を入力します。[0~63]

9.3.4. Discovery

- Discovery

表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効を選択します。 ホスト名(TCS9500.local)が割り当てられ、ホスト名を使用して本機にアクセスできるようになります。
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 Onvif をサポートしているクライアントからの検出ができるようになります。

※TCS-9500 が検出されない場合は、ファイアウォールを無効にしてください。

9.3.5. One-way

One-way Streaming

Mode: Off

Apply

One-way

- One-way Streaming

MPEG-TS

Primary	Enable	Destination IP	Destination Port
Secondary#1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.10.110	50000
Secondary#2	<input type="checkbox"/>	239.1.1.1	12345
Secondary#3	<input type="checkbox"/>		0

表示	説明
Mode	MPEG-TS を選択します。
Enable	片方向ストリーム配信を有効にする場合、チェックを入れます。
Destination IP	片方向ストリーム配信の宛先システムの IP アドレスを設定します。 ユニキャスト : 宛先 IP アドレスを入力(例:上図 Primary) マルチキャスト : マルチキャストアドレスを入力(例:上図 Secondary#1)
Destination Port	片方向ストリーム配信の宛先システムのポート番号を入力します。

※ MPEG-TS の映像伝送は、[Algorithm:H.264/H.265] を設定してください。

※ MPEG-TS に音声を組み込む場合は、[Algorithm:AAC] を設定してください。

RTMP

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

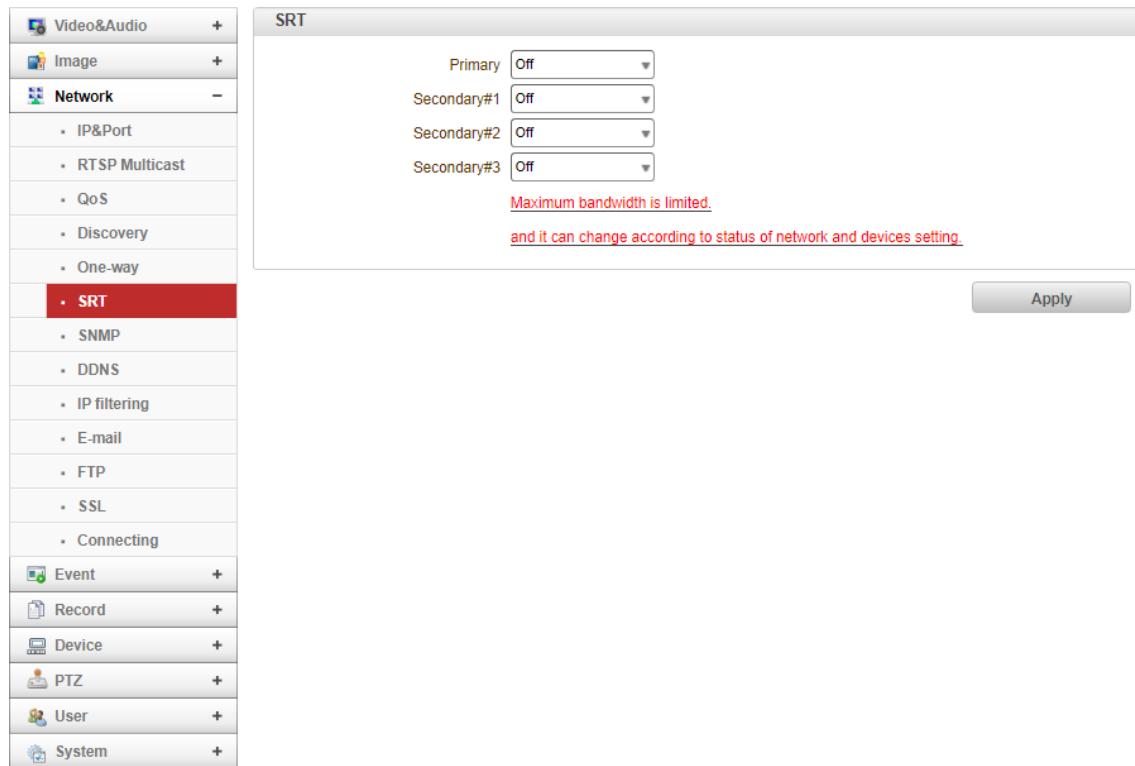
One-way Streaming

Mode	RTMP
H.265 RTMP Streaming is not supported.	
Primary	Enable
Destination IP	
StreamName	
UserName	
Password	
Secondary#1	Disable
Secondary#2	Disable
Secondary#3	Disable

9.3.6. SRT

SRT(Secure Reliable Transport)は、信頼性の高い映像伝送プロトコルです。

映像データの暗号化、パケットロスのリカバリ機能などにより、安全でロスに強い映像伝送を可能にします。



※ SRT の映像伝送は、[Algorithm:H.264/H.265] を設定してください。

※ SRT に音声を組み込む場合は、[Algorithm:AAC] を設定してください。

- SRT

Primary または Secondary#1~3 で Caller を選択した場合

SRT

Primary	Caller
Destination Address	192.168.10.110
Destination Port	1234
Secure	AES-128
Passphrase	*****
Latency	250 ms (60 ~ 8000)
Secondary#1	Off
Secondary#2	Off
Secondary#3	Off

Maximum bandwidth is limited.
and it can change according to status of network and devices setting.

表示	説明
Caller	SRT ストリームはクライアントのように動作し、呼び出しを行い待機しているサーバと接続します。
Destination Address	SRT ストリームの UDP 宛先(サーバ)アドレスを指定します。 IP アドレスまたはドメイン名を使用できます。
Destination Port	SRT ストリームの UDP 宛先(サーバ)ポートを指定します。
Secure	AES 暗号化を Off(なし)、AES-128、AES-256 から選択します。
Passphrase	AES-128 を選択した場合は 10-16 文字の暗号化キー、AES-256 を選択した場合は 10-32 文字の暗号化キーを入力します。
Latency	レイテンシを Listener と Caller の両方で設定します。 設定されたレイテンシの値が異なる場合、大きい方の値が適用されます。 初期値: 250ms[60~8000ms]

Primary または Secondary#1-3 で Listener を選択した場合

SRT

Primary	Listener
Listen Port	1234
Secure	AES-128
Passphrase
Latency	250 ms (60 ~ 8000)
Secondary#1	Off
Secondary#2	Off
Secondary#3	Off

*Maximum bandwidth is limited.
and it can change according to status of network and devices setting.*

表示	説明
Listener	SRT ストリームはサーバのように動作し、クライアントが接続するまで待機します。
Listen Port	SRT ストリームの UDP ポートを指定します。
Secure	AES 暗号化を Off(なし)、AES-128、AES-256 から選択します。
Passphrase	AES-128 を選択した場合は 10-16 文字の暗号化キー、AES-256 を選択した場合は 10-32 文字の暗号化キーを入力します。
Latency	レイテンシを Listener と Caller の両方で設定します。 設定されたレイテンシの値が異なる場合、大きい方の値が適用されます。 初期値: 250ms[60-8000ms]

SRT ストリームを TCS-1700 以外で再生する場合は、以下のストリーム URL を設定して下さい。

[例 1]

TCS-9500 で Listener を選択した場合、受信側は [`srt://192.168.10.100:1234`] で再生。

[例 2]

TCS-9500 で Caller を選択した場合、受信側は [`srt://@:1234`] で再生。

9.3.7. SNMP

SNMP

SNMP Listen Port: 0 (0, 161, 1025~65535)

SNMP Trap Destination IP: 0.0.0.0

SNMP Trap Destination Port: 162 (0, 162, 1025~65535)

SNMP Version: 2c

Apply

- SNMP

SNMP

SNMP Listen Port: 0 (0, 161, 1025~65535)

SNMP Trap Destination IP: 0.0.0.0

SNMP Trap Destination Port: 162 (0, 162, 1025~65535)

SNMP Version: 2c

表示	説明
SNMP Listen Port	SNMP の待ち受けポートを設定します。 初期値:161[1025~65535] ※0を設定すると SNMP は無効
SNMP Trap Destination IP	本機能は未サポートのため、ご使用になられません。
SNMP Trap Destination Port	本機能は未サポートのため、ご使用になられません。
SNMP Version	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。SNMP v3 を選択した場合は、「User Authentication and Privacy(v3)」を設定します。

- User Authentication and Privacy(v3)

SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。

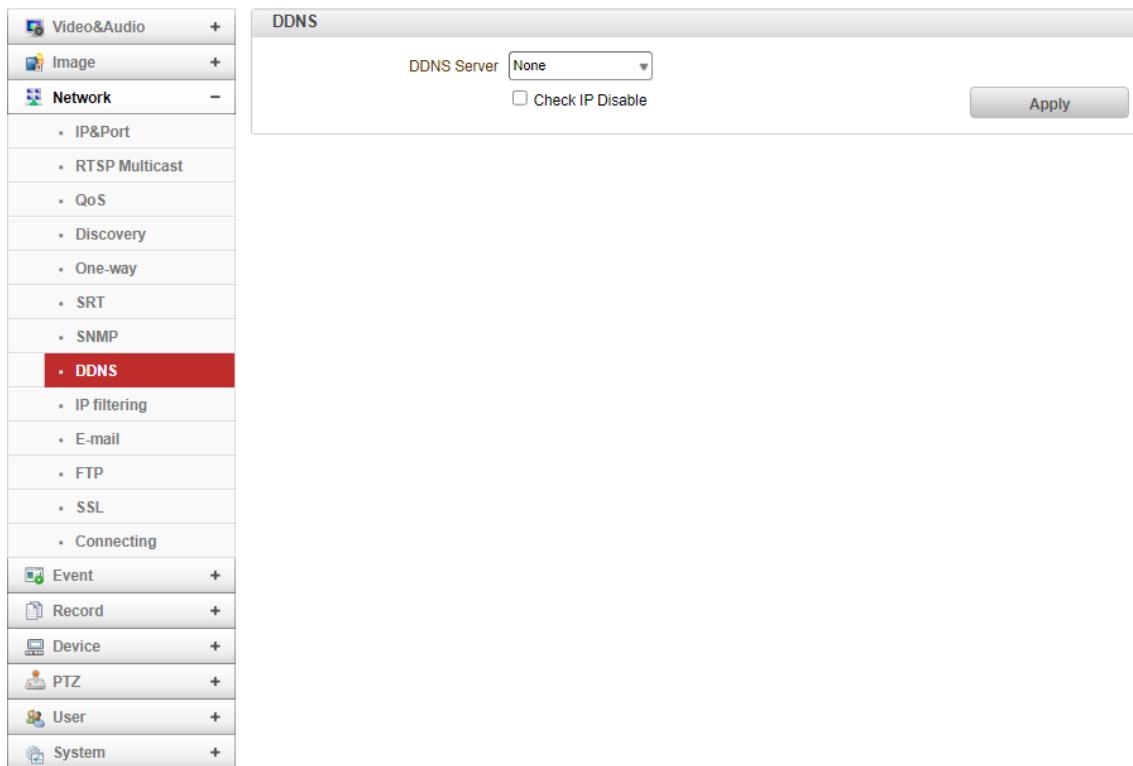
User Authentication and Privacy (v3)

User	<input type="text"/>
Authentication Protocol	none
Authentication Password	<input type="text"/>
Privacy Protocol	none
Privacy Password	<input type="text"/>

表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを None(ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none(暗号化なし)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号化パスワードを入力してください。※9 文字以上

9.3.8. DDNS

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.3.9. IP filtering

No.	From	To	Enable
1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
11	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
12	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
13	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
14	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
15	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
16	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
17	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
18	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
19	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
20	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>

- IP Filtering

表示	説明
Basic Policy	Allow all:リストにあるIPアドレスからのアクセスを拒否します。 Deny all:リストにあるIPアドレスからのアクセスを許可します。
From / To	アクセスを拒否または許可したいIPアドレスの範囲を入力します。
Enable	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

9.3.10. E-mail

● E-mail

表示	説明
Server Address	メール送信(SMTP)サーバのアドレスを入力します。
Port	SMTP 操作のためのポートを指定します。 初期値:25[465、587、1025-65535]
Sender Address	使用する E-mail アドレスを入力します。
Authentication on SMTP Server	E メールを送信する際に SMTP サーバでの認証を必要とする場合は、On にします。
ID	"Authentication on SMTP Server"が On の場合、E メールアカウントの ID とパスワードを入力する必要があります。
Password	E メールアカウントの ID とパスワードを入力する必要があります。

SSL	SSL の有効または無効を選択します。
Destination Address	宛先アドレスを入力します。 ※63 文字まで入力可能。
E-mail Test	このボタンをクリックすると、E メールの送信テストができます。 ※使用する前に Apply をクリックし、保存してください。

- E-mail Notification

E-mail Notification

Video Clip Attaching	Disable
Number of Frame	1 (1 ~ 6)
Capture Interval	Skip 1 frame

表示	説明
Video Clip Attaching	通知時にビデオクリップ(映像または画像)を添付するのか選択します。
Number of Frame	“Video Clip Attaching”で”JPEG Capture”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1-6]
Capture Interval	“Video Clip Attaching”で”JPEG Capture”を選択し、”Number of Frame”的値を 2 以上に設定した場合、キャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frame”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔でキャプチャします。

9.3.11. FTP

The screenshot shows the TCS-9500 configuration interface. On the left, there is a sidebar with various categories: Video&Audio, Image, Network (which is expanded to show IP&Port, RTSP Multicast, QoS, Discovery, One-way, SRT, SNMP, DDNS, IP filtering, E-mail, and FTP), Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'FTP' button under the Network category is highlighted with a red box. To the right of the sidebar, there are two main configuration panels: 'FTP' and 'FTP Upload'. The 'FTP' panel contains fields for Server Address, Port (set to 21), ID, Password, FTP Filename, and FTP Base Directory, with a 'FTP Test' button. The 'FTP Upload' panel contains fields for Upload Video (set to Primary Video), Number of Frame (set to 1), Capture Interval (set to Skip 1 frame), Continuous Upload (set to Off), Upload Duration (set to 10), and Upload Interval (set to 300), with an 'Apply' button.

- FTP

The screenshot shows the 'FTP' configuration panel. It contains fields for Server Address, Port (set to 21), ID, Password, FTP Filename, and FTP Base Directory, with a 'FTP Test' button.

表示	説明
Server Address	ビデオファイルを受信するために、FTP サーバのアドレスを入力します。
Port	FTP 操作のためのポートを指定します。 初期値:21[1025-65535]
ID / Password	FTP サーバにアクセスするための ID とパスワードを入力します。
FTP Filename	FTP によりアップロードするファイル名をユーザが指定できます。※1 ※ファイル名は 60 文字まで。 ファイル名には、以下のマクロが使用できます。 %EVENT: イベントタイプ(Sensor1 等)、%ADDR: サーバのアドレス %YYYY: 西暦、%MM: 月、%DD: 日、%hh: 時、%mm: 分、%ss: 秒

FTP Base Directory	FTP サーバに作成するディレクトリの名前を指定します。
FTP Test	クリックすると、FTP アップロード機能をテストすることができます。 ※使用する前に Apply をクリックし、設定を保存してください。

※1 【例】%EVENT_%YYYY.%MM.%DD_%hh.%mm.%ss → Sensor1_2020.05.19_10.07.31.jpg

- FTP Upload

FTP Upload

Upload Video	Primary Video
Number of Frame	1 (1 ~ 6)
Capture Interval	Skip 1 frame
Continuous Upload	Off
Upload Duration	10 sec (Max 300)
Upload Interval	300 sec (Max 10800)

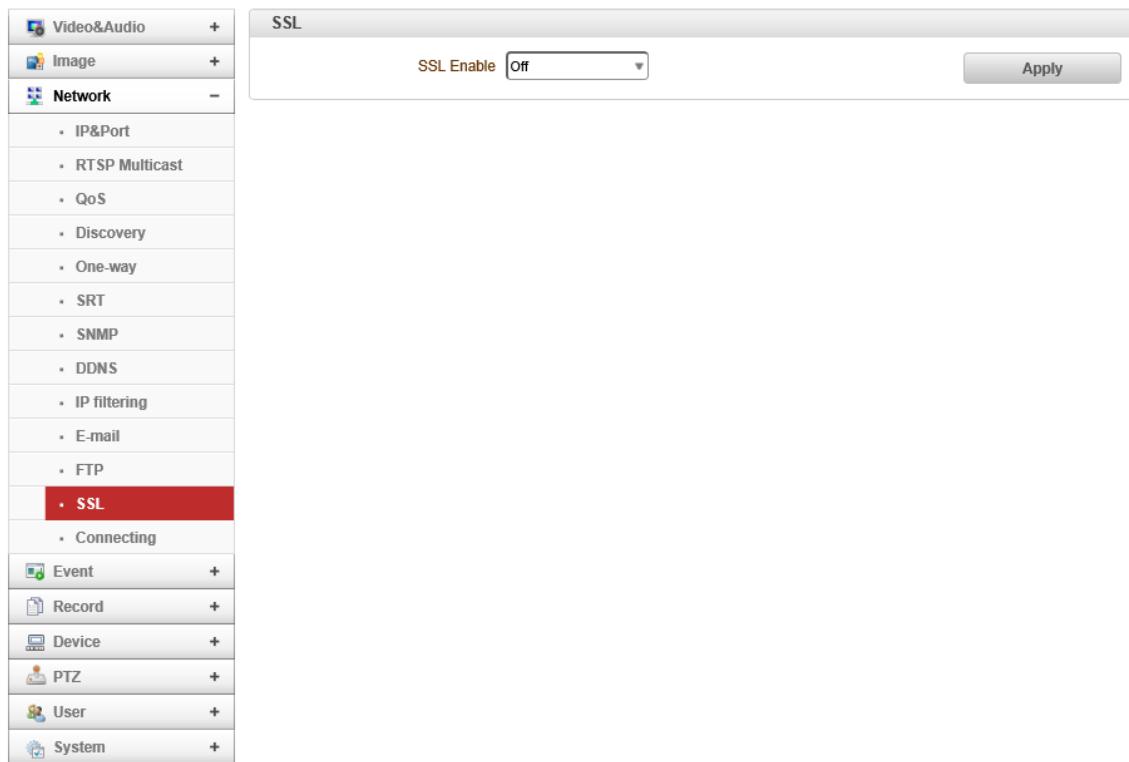
表示	説明
Upload Video	FTP サーバにアップロードするファイルを、Primary video、Secondary video(H.264 のみ)、JPEG キャプチャの中から選択します。
Number of Frame	“Upload Video”で”JPEG Capture”を選択した場合のキャプチャ枚数を選択します。[1]※1
Capture Interval	“Upload Video”で”JPEG Capture”を選択し、”Number of Frame”の値を 2 以上に設定した場合のキャプチャ間隔を設定します。※2 ”Skip 2 frame”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔でキャプチャします。
Continuous Upload	定期的な FTP サーバへのアップロードを有効または無効に設定します。 On の場合、下の二つが設定を行います。
Upload Duration	ビデオクリップの録画時間を指定し、アップロードします。[最大 300 秒] 一つのファイルの最大容量が 1.5MB 程度のため、設定時間より短い時間の録画ファイルが作成される場合があります。
Upload Interval	FTP サーバへのアップロード間隔を指定します。[最大 10800 秒]

※1 Number of Frame のサポート範囲は 1 です。(2-6 は未サポートのためご使用になれます)

※2 Number of Frame で選択できるのは 1 枚のみのため、Capture Interval はご使用になれます。

9.3.12. SSL

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.3.13. Connecting

base :: 192.168.10.110 - (1.0.0.0)
 rtsp :: 192.168.10.110:58146 - /video1+audio1
 srt :: 192.168.10.110:56394

表示	説明
Connecting	現在システムに接続しているクライアント IP アドレスが記載されます。
Refresh	表示を更新します。

9.4. Event

Setup メニュー画面から"Event"タブをクリックします。

Local						
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

Remote						
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

On Disconnect						
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

User Defined Event						
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	E-mail	FTP	Preset

➤ Event メニュー

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	イベントの種類(時間変更、録画ステータスの異常)の選択を行います。
Motion Detection	動体検知の設定を行います。
Audio Detection	検知する音声の制限をかけられます。
Sensor	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
Alarm	イベント発生時のアラームまたはビープ音の長さの設定を行います。
Event OSD	イベント発生時に表示する OSD の設定を行います。
HTTP Action	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

9.4.1. Notification

● Local

Local のイベントに対するアクションを設定します。

表示	説明
Sensor 1～2	センサーが起動したときのアクションを設定します。
On Video Loss	ビデオ入力信号が失われたときのアクションを設定します。
On Motion	動体検知機能によって、動きが検出されたときのアクションを設定します。
Audio Detection	音声検知機能によって、音声が検出されたときのアクションを設定します。

● Remote

Remote(デコーダ側)のセンサーが起動したときのアクションを設定します。

- On Disconnect

リンク(接続)が切断されたときのアクションを設定します。

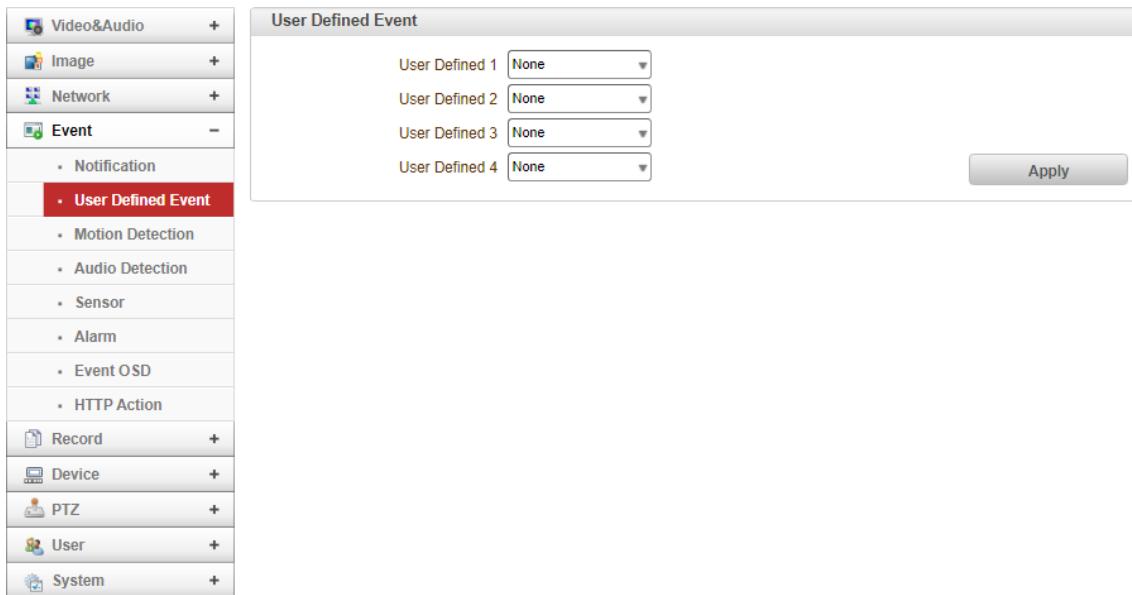
- User Defined Event

User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。

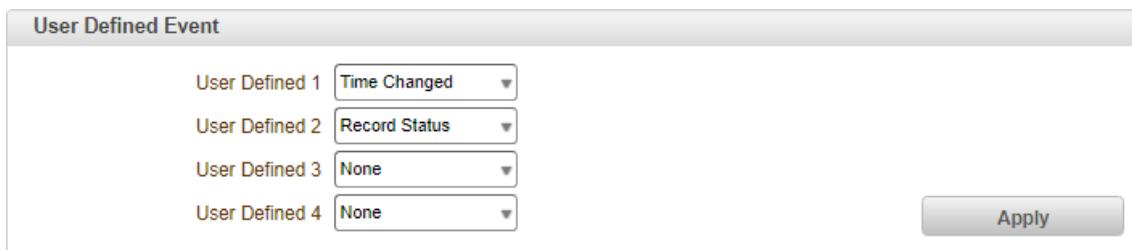
各アクションについて

表示	説明
Beep	本機からビープ音が鳴ります。
Alarm	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
E-mail	指定されたアドレスに E メールを送信します。録画ファイルも添付可能です。
FTP	指定した FTP サーバへ録画ファイルをアップロードします。
Preset	プリセット位置にカメラを移動します。
Event OSD	画面上に OSD を表示します。
HTTP API	HTTP API を送信します。

9.4.2. User Defined Event

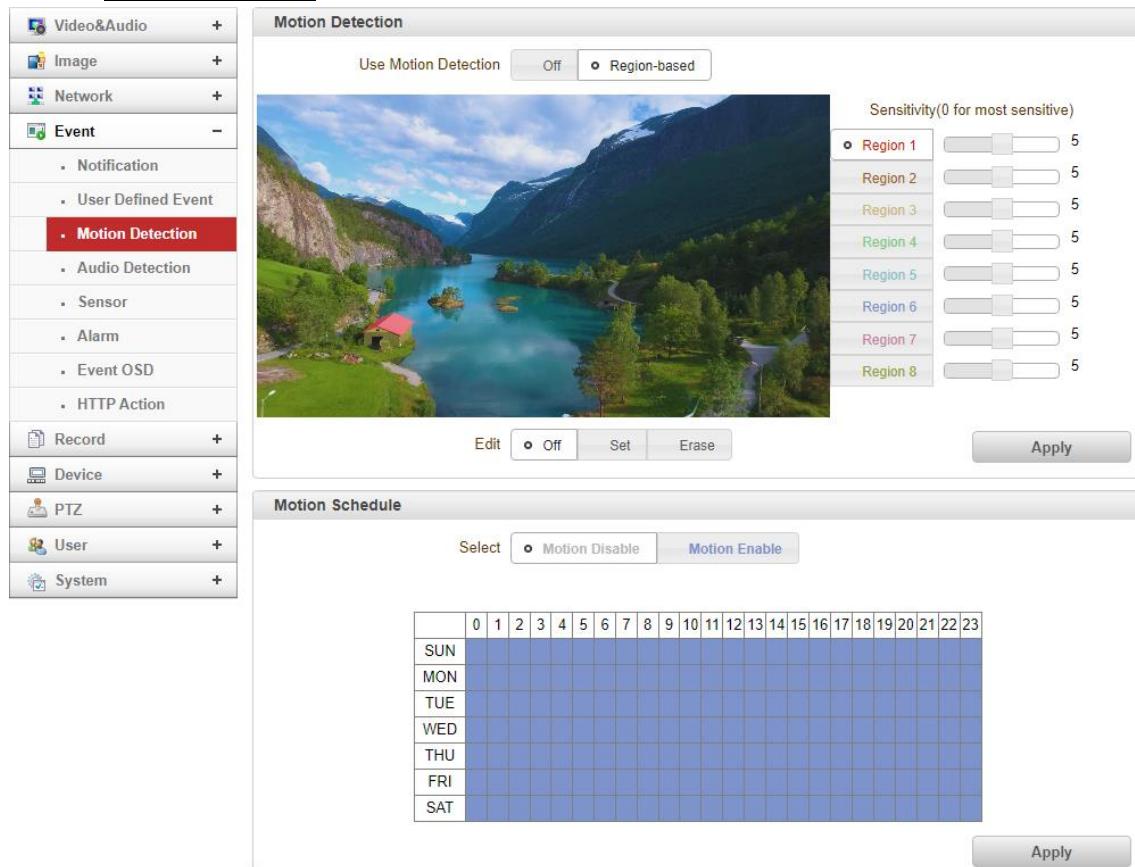


- User Defined Event

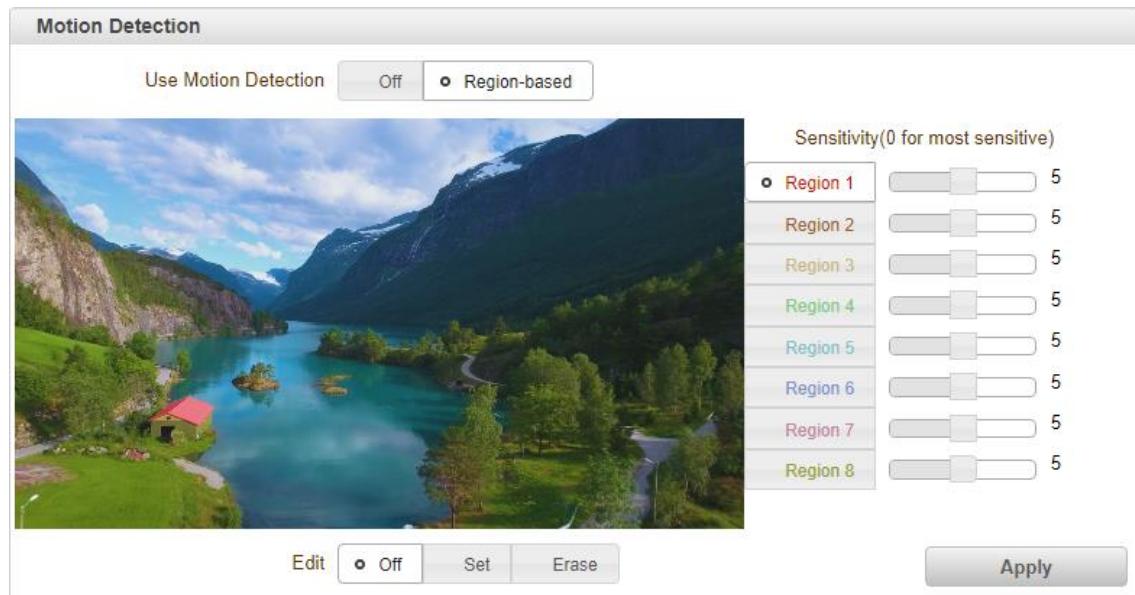


表示	説明
Time Change	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
Record Status	録画の異常停止や USB ディスクの切断など、録画ステータスが異常と判断されたときにイベントを発生させます。

9.4.3. Motion Detection



- Motion Detection



表示	説明
Use Motion Detection	動体検知機能を使用する場合、Region-based を選択し、下の画面から動体検知を行う領域をマウスドラッグで選択します。
Edit	領域を指定する場合は Set、削除する場合は Erase を選択します。
Region 1～8	動体検知を行う領域を最大 8 カ所設定できます。
Sensitivity	各 Region で動体検知の感度を設定します。[0-10] ※0 が最も感度が高くなります。

- Motion Schedule

Motion Schedule

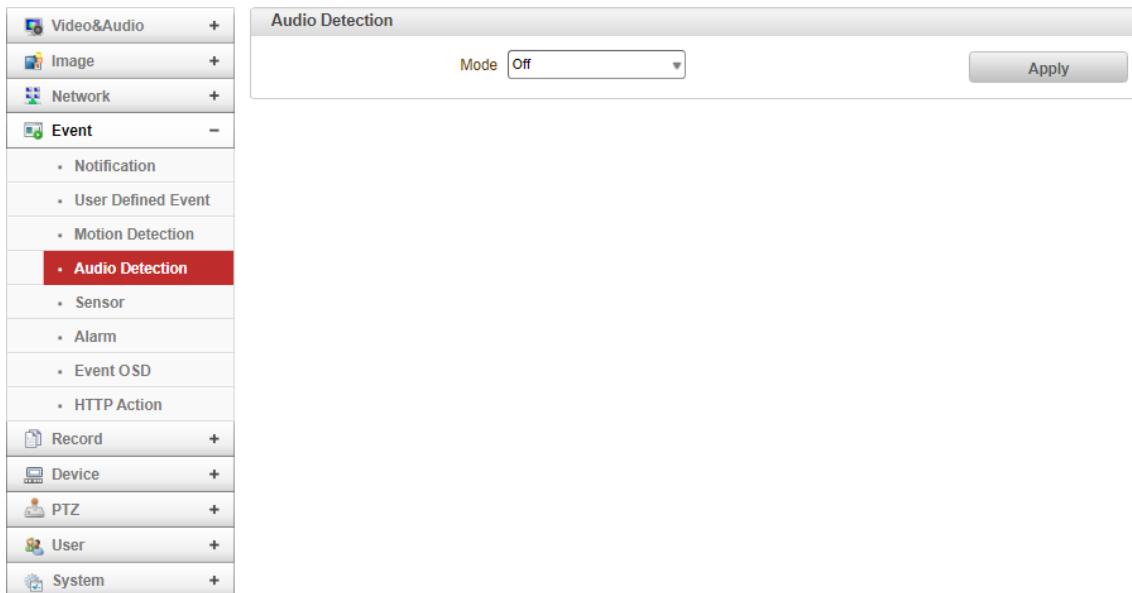
Select
 Motion Disable
 Motion Enable

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

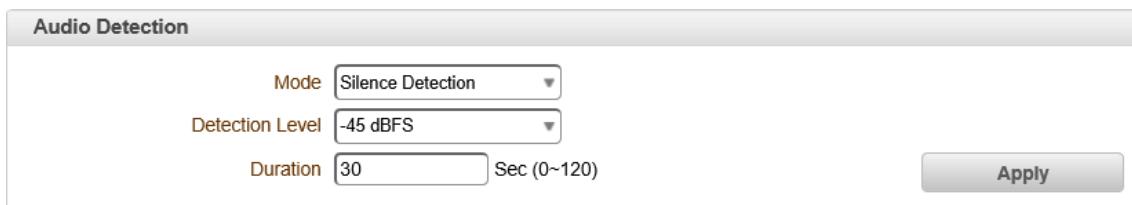
Apply

表示	説明
Select	Motion Enable(有効)または Motion Disable(無効)を選択し、クリックやドラッグで動体検知のスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.4.4. Audio Detection



- **Audio Detection**



表示	説明
Mode	Silence Detection または Sound Detection を選択します。
Detection Level	音声検知の閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS] Silence Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が小さい場合にイベントを発生させます。 Sound Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい場合にイベントを発生させます。
Duration	Silence と Sound で、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。 Silence: 閾値より音声信号が小さい時間が Duration 時間を超えたときに、イベント発生させます。 Sound: 閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。

9.4.5. Sensor

- Sensor Type

表示	説明
Off	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- Sensor Schedule

Sensor Schedule

Select Sensor Off Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Sensor Off(無効)またはSensor On(有効)を選択します。
Sensor 1～2	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.4.6. Alarm

Video&Audio +

Image +

Network +

Event -

- Notification
- User Defined Event
- Motion Detection
- Audio Detection
- Sensor
- Alarm**
- Event OSD
- HTTP Action

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

- **Alarm**

Beep Duration Synchronous

Alarm1 Duration 1 sec

Alarm2 Duration 1 sec

Apply

表示	説明
Beep Duration	ビープ音が鳴る継続時間を設定します。
Alarm1/2 Duration	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。

Durationについて

表示	説明
Synchronous	関連付けたイベントが発生している間、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。
1, 5, 10, 30, 60 sec	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、ビープ音またはアラーム回路を作動し続けます。
Continuous	手動で止めるまで、ビープ音またはアラーム回路を作動させます。

9.4.7. Event OSD

- Event OSD

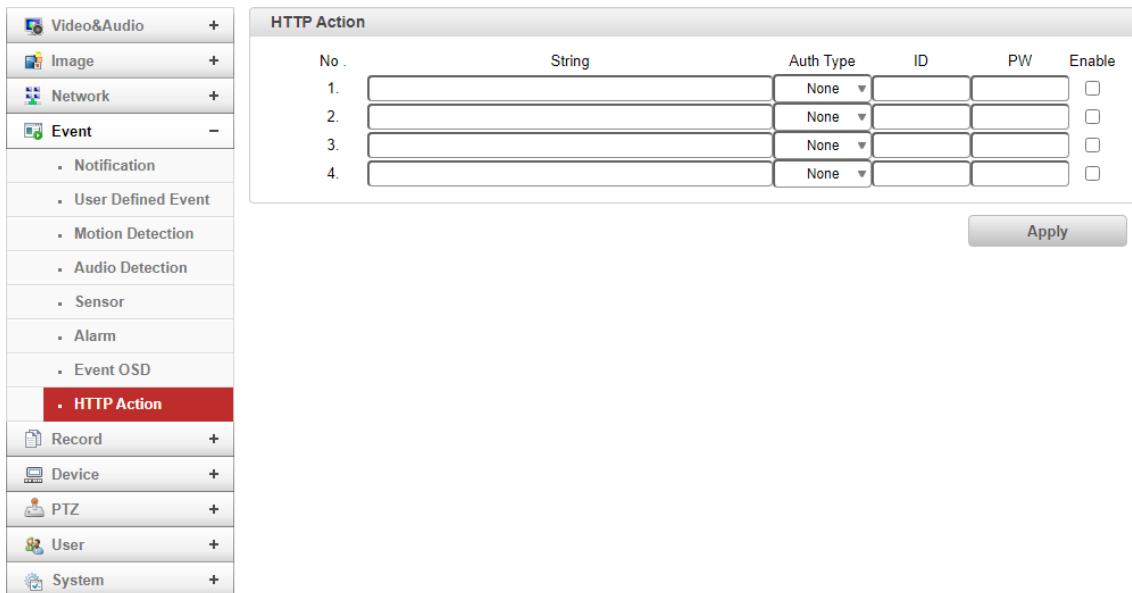
表示	説明
Display Event Type	String で設定した文字列の前に、イベントタイプを挿入する場合はチェックを入れます。
String	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。 最大 63 文字（日本語は最大 21 文字） 英数記号(¥のみ使用不可)、日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)使用可能
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。[0~1000]
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。[0~1000]
Font Size	フォントサイズを設定します。[12~84]
Color	フォントの色を設定します。

- OSD Display Time



表示	説明
OSD Display Time	OSD を表示し続ける時間を設定 該当イベント:On Disconnect / Time Change / Record Status

9.4.8. HTTP Action



- HTTP Action

HTTP Action					
No.	String	Auth Type	ID	PW	Enable
1.		None			<input type="checkbox"/>
2.		None			<input type="checkbox"/>
3.		None			<input type="checkbox"/>
4.		None			<input type="checkbox"/>

表示	説明
String	HTTP API の命令を入力します。 入力文字列については、下記の「HTTP API の入力例」をご参照ください。
Auth Type	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。 Auth Type の選択方法は、「Auth Type の設定基準」をご参照ください。
ID	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
PW	ログイン時に使用するパスワードを入力します。
Enable	入力した命令の有効/無効を設定します。

➤ HTTP API の入力例

《例 1》再起動

http://<server>/httpapi/WriteParam?action=writeparam&SYS_REBOOT=0

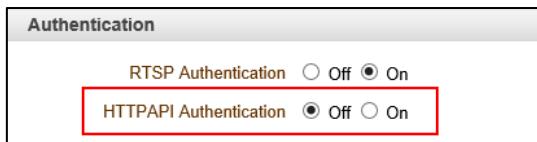
《例 2》プリセット 1 へ移動

http://<server>/httpapi/SendPTZ?action=sendptz&PTZ_CHANNEL=1&PTZ_PRESETGOTO=1

➤ Auth Type の設定基準

HTTPAPI Authentication:Off の場合

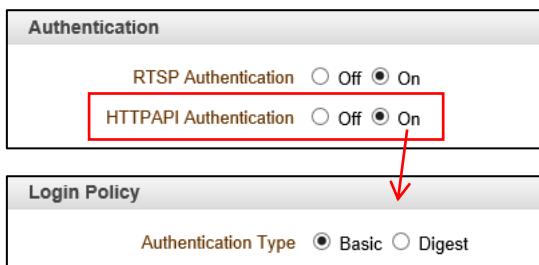
HTTP API 認証が無効のため、Auth Type は “None” を選択します。



HTTPAPI Authentication:On の場合

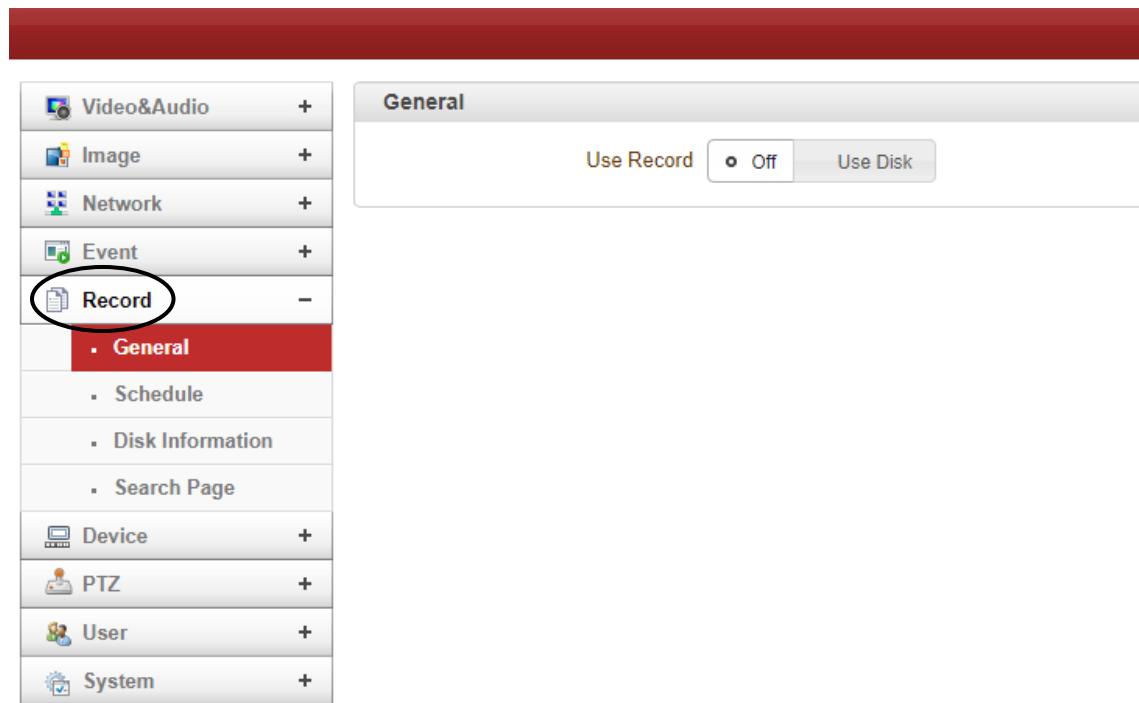
HTTP API 認証が有効のため、Login Policy の Authentication Type に従う必要があります。

- Authentication Type:Basic の場合は、Auth Type も “Basic” を選択
- Authentication Type:Digest の場合は、Auth Type も “Digest” を選択



9.5. Record

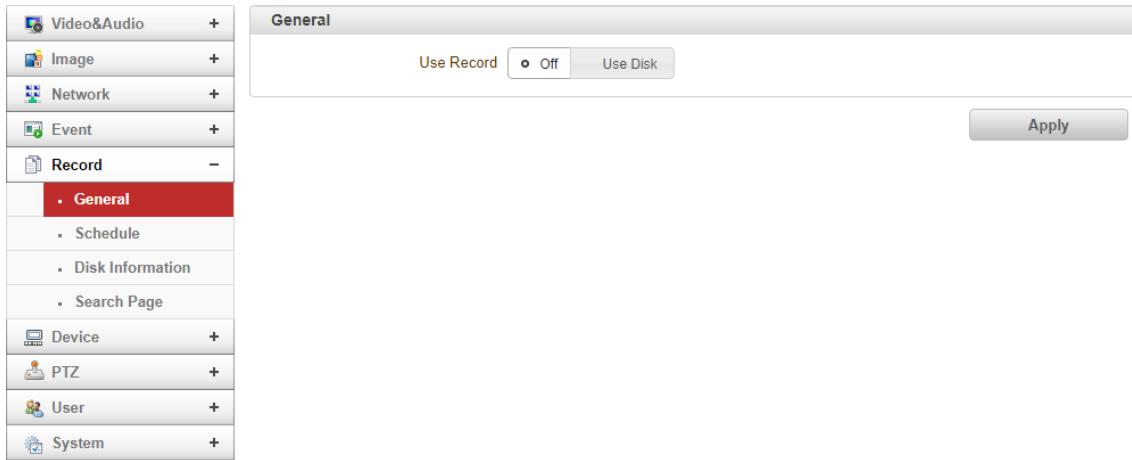
Setup メニュー画面から"Record"タブをクリックします。



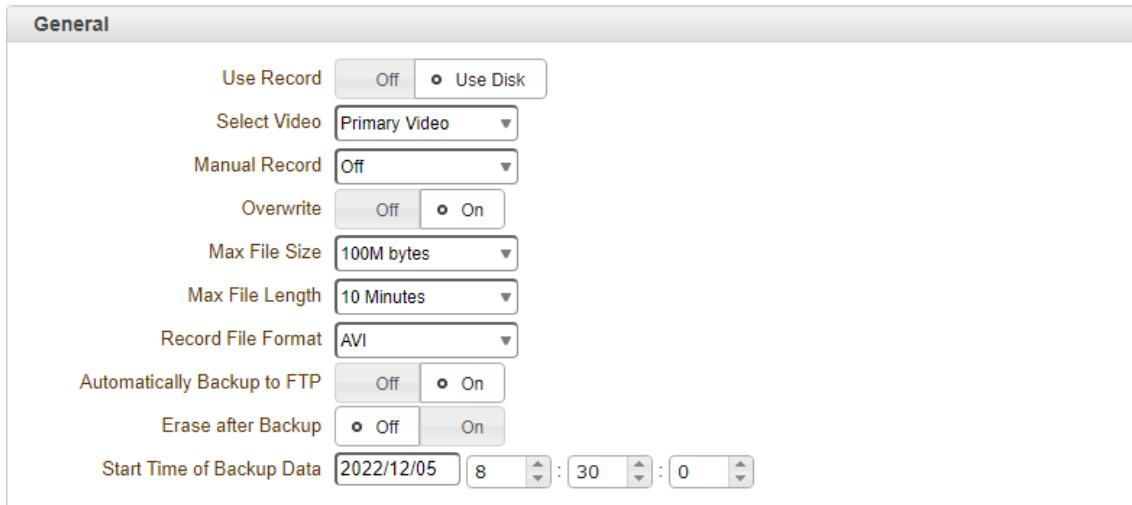
➤ Record メニュー

表示	説明
General	録画の設定を行います。
Schedule	録画のスケジュール設定を行います。
Disk Information	録画情報や容量が確認できます。
Search Page	録画されたデータを探すことができます。

9.5.1. General



- General



表示	説明
Use Record	Off: 録画機能が OFF になります。 Use Disk: 録画機能が ON になります。設定後に再起動します。
Select Video	録画するビデオストリーム(Primary, Secondary#1-3)を選択します。
Manual Record	Off: スケジュール通りに録画します。 On: スケジュール関係なく常時録画を行います。
Overwrite	ディスクが容量不足になると、最も古いデータから削除されます。
Max File Size	録画ファイルのサイズを制限するため、最大ファイルサイズを選択します。
Max File Length	録画ファイルの時間の長さを制限するため、録画の最大時間を選択します。
Record File format	録画ファイル形式を MP4※1または AVI から選択します。
Automatically Backup to FTP	On を選択した場合、自動的に FTP サーバへバックアップします。

Erase after Backup	FTP サーバへバックアップしたデータは、ディスクから削除されます。
Start Time of Backup Date	バックアップを開始する日付と時間帯を設定します。

※1 MP4 の注意事項

MP4 で録画する場合は、H.264 を推奨します。

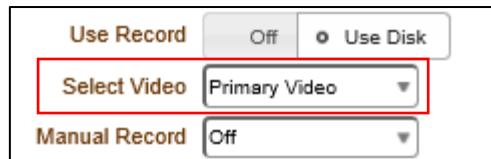
H.265 での録画は可能ですが、ブラウザ上での録画再生が未サポートとなります。

MJPEG での録画は未サポートとなります。(AVI での録画は可能)

録画機能を使用する場合

エンコード映像を録画します。

Select Video で、Primary/Secondary#1-3 の 4 ストリームから 1 つを選択し、録画を行います。



※解像度やフレームレート、画質等は、Video&Audio > Video で設定して下さい。

録画ファイルの作成について

録画ファイルのファイルサイズ (Max File Size)、録画時間 (Max File Length) のどちらか一方が最大値に達した場合、新しい録画ファイルが作成されます。

録画のステータスを確認

LIVE 画面で、録画ステータスを確認できます。赤は録画 ON、消灯は録画 OFF を表します。



9.5.2. Schedule

- Event Type

表示	説明
Event Type 1~4	録画を開始するトリガを設定します。4 つまでイベントタイプが設定でき、それぞれセンサー、ビデオロス、音声検知、時間変更通知などの組み合わせで行うことができます。
Pre-event Time	イベント発生の何秒前から録画を開始するのか設定します。
Post-event Time	イベント収束の何秒後まで録画を継続するのか設定します。

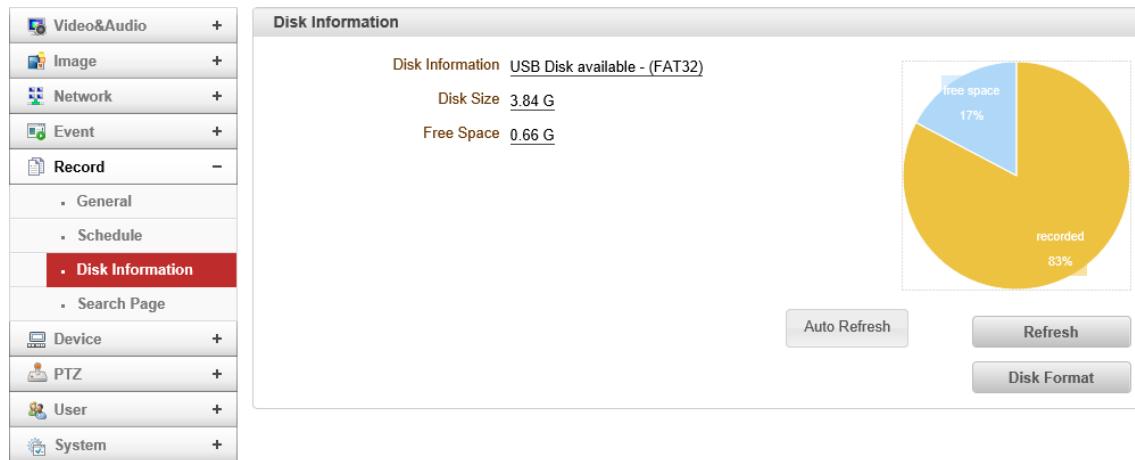
- Schedule Table

Schedule Table

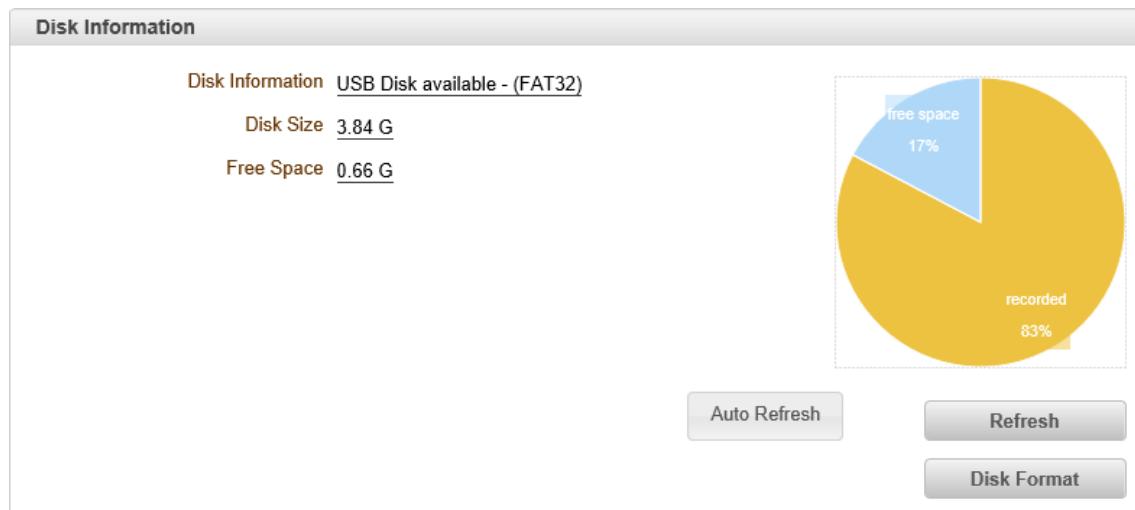
Select	<input checked="" type="radio"/> Record Off	Continuous				<input type="radio"/> Disconnect
	Event Type 1	Event Type 2	Event Type 3	Event Type 4		
SUN						
MON						
TUE						
WED						
THU						
FRI						
SAT						

表示	説明
Select	<p>Record Off、Continuous、Disconnect、Event Type から選択します。</p> <p>Record Off: 録画を行いません。</p> <p>Continuous: 常時録画を行います。</p> <p>Disconnect: システムが最後のクライアント(デコーダ、VMS/NVR)などとの接続を失ったときに録画が開始されます。</p> <p>Event Type: 上のイベントタイプ設定で構成されたイベントをスケジュールで録画を行います。</p>

9.5.3. Disk Information



- Disk Information



表示	説明
Disk Information	ディスクのステータスを表示します。 詳細は下記の <u>Disk Information</u> を参照してください。
Disk Size	ディスクの容量を表示します。
Free Space	ディスクの空き容量を表示します。
Auto Refresh	1分間隔で自動的に更新します。
Refresh	クリックすると更新します。
Disk Format	ディスクをフォーマットして、本機を再起動します。

Disk Information

ディスクステータス	説明	
Disk error detected	エラーを検出しました。	
Not disk	システムにディスクが接続されていません。	
Searching Disk Information	ディスクのステータスを確認しています。ページを更新またはステータスが変更されるまで待機してください。	
Mounting and Recovering Disk	ディスクの損傷が見つかったときに、リカバリプロセスを実行します。回復には数秒から数分かかります。	
Disk format needed	ディスクは接続されていますが、ファイルシステムの種類が不明、または破損している可能性があります。	
Unknown disk type detected	USB Disk available	USB ディスクは使用可能です。
Disk removed or in abnormal state	動作中にディスクがデータ化されるか、ファイルシステムに損傷があります。ディスクをフォーマットすることを推奨します。	

USB ディスクについて

- USB メモリースティックまたはUSB HDD(外部電源付き)を使用でき、1GB 以上を推奨します。
- ファイルシステムは「FAT32」のみサポートしています。
- 録画と監視を同時に行う場合は、4Mbps 以下のビットレートを推奨します。パフォーマンスの制限によりフレームの欠落が発生する可能性があります。
- USB ディスクを正常に読み取れなかった場合は、Disk Format を行ってください。システムは再起動を行い、起動時にディスクのステータスを読み取り初期化します。

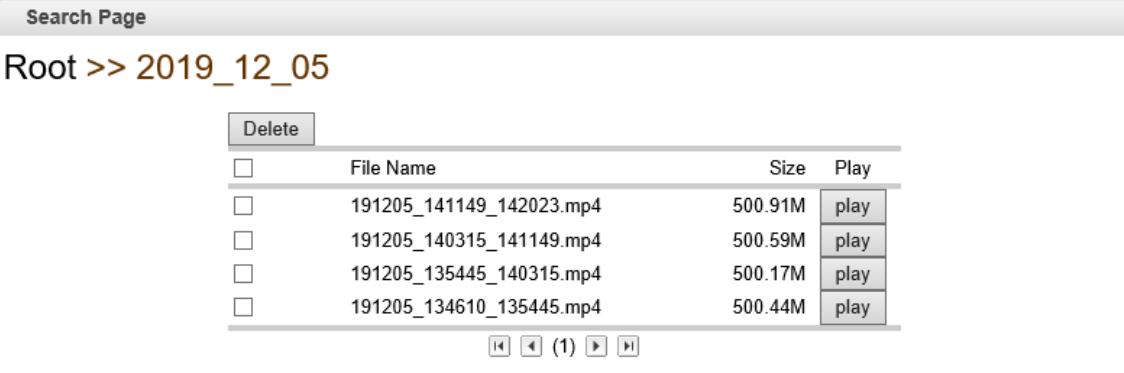
9.5.4. Search Page



Search Page

- Video&Audio
- Image
- Network
- Event
- Record
 - General
 - Schedule
 - Disk Information
 - Search Page
- Device
- PTZ
- User
- System

表示	説明
Search Page	<p>録画した日付を表示します。</p> <p>日付をクリックすると、下のように表示されます。</p> <p>※File Name をクリックすると、録画した動画を見ることができます。</p>



Search Page

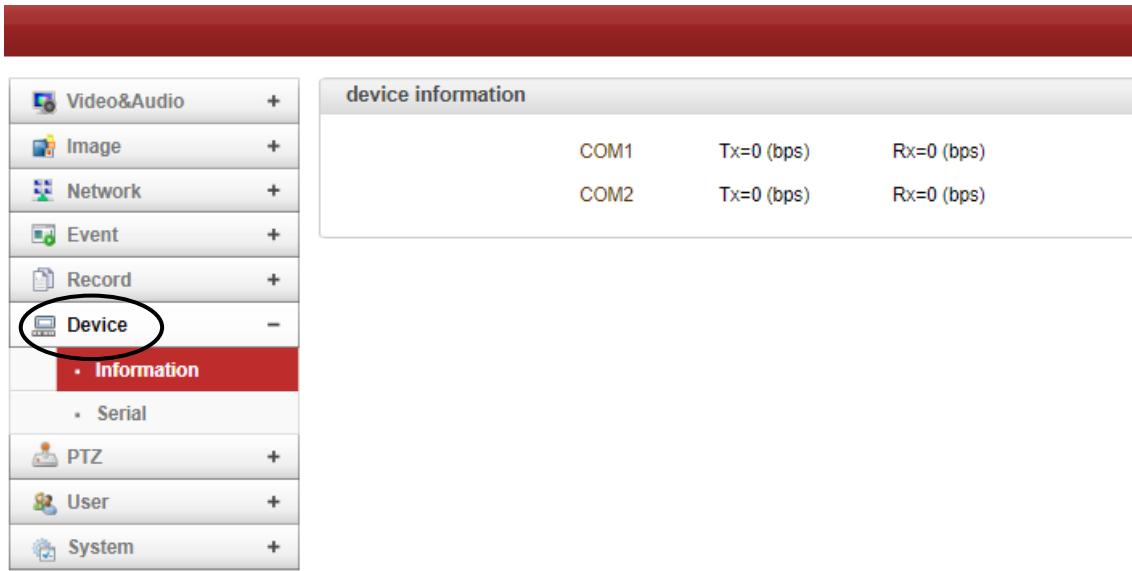
Root >> 2019_12_05

<input type="checkbox"/>	File Name	Size	Play
<input type="checkbox"/>	191205_141149_142023.mp4	500.91M	play
<input type="checkbox"/>	191205_140315_141149.mp4	500.59M	play
<input type="checkbox"/>	191205_135445_140315.mp4	500.17M	play
<input type="checkbox"/>	191205_134610_135445.mp4	500.44M	play

表示	説明
File Name	<p>録画時間がファイル名となります。</p> <p>ファイル名をクリックすると、録画ファイルを保存できます。※1</p>
Size	録画ファイルの容量を表示します。
Play	<input type="button" value="play"/> をクリックして録画ファイルを再生します。(MP4 のみ表示)
Delete	削除したいファイルにチェックを入れ <input type="button" value="Delete"/> をクリックすると、録画ファイルが削除されます。

9.6. Device

Setup メニュー画面から"Device"タブをクリックします。



The screenshot shows the 'Setup' menu interface. On the left is a sidebar with the following items:

- Video&Audio
- Image
- Network
- Event
- Record
- Device** (This item is circled in red)
- Information (This item is highlighted in red)
- Serial
- PTZ
- User
- System

The main content area is titled 'device information' and displays the following table:

	COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)
	COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)

➤ Device メニュー

表示	説明
Information	シリアル通信の状態を表示します。
Serial	シリアルポートの設定を行います。

9.6.1. Information

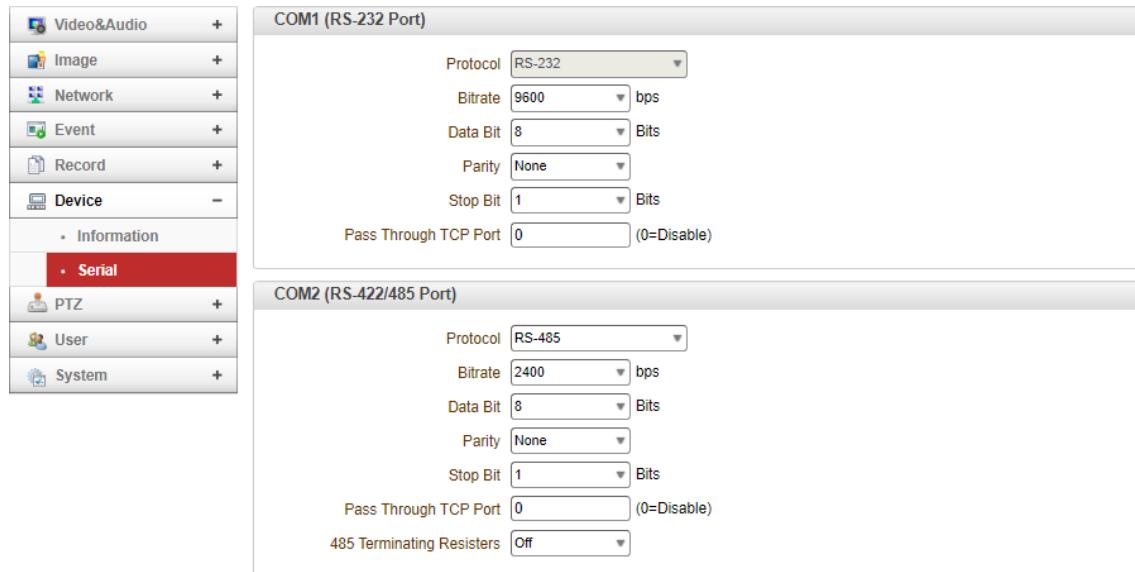
device information

COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)
COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)

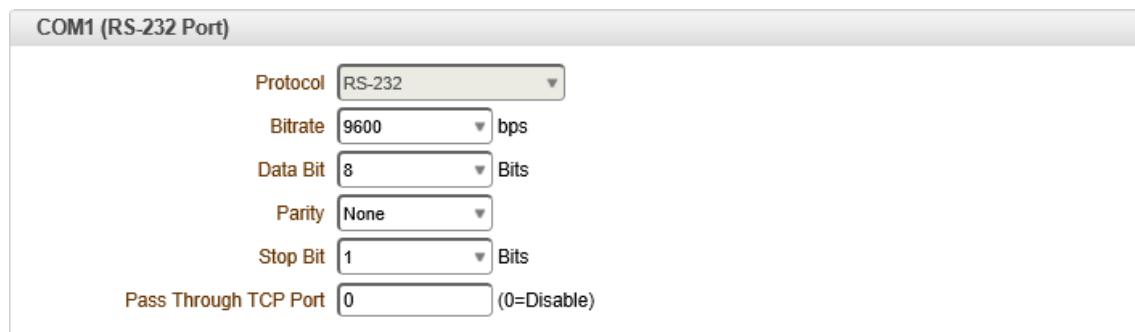
- Device information

表示	説明
COM1 / COM2	現在のシリアル通信の状態(送受信)を表示します。

9.6.2. Serial



- COM1 (RS-232 Port)



表示	説明
Protocol	RS-232 で固定されます。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。

- COM-2 (RS-422/485 Port)

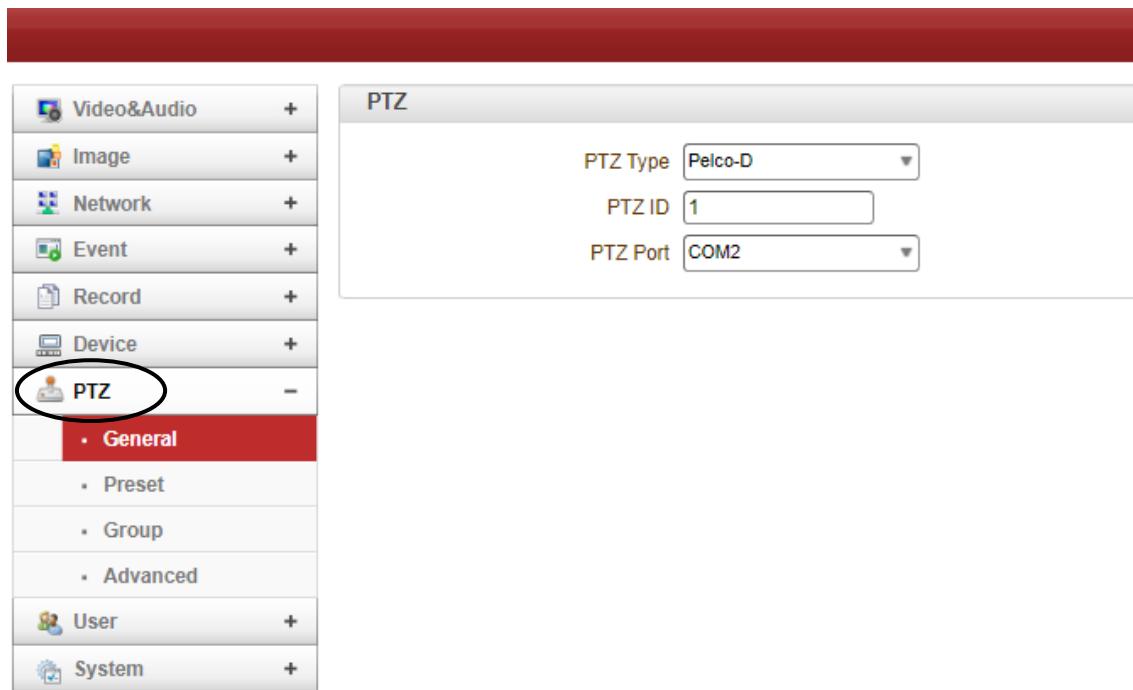
COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol	RS-485
Bitrate	2400 bps
Data Bit	8 Bits
Parity	None
Stop Bit	1 Bits
Pass Through TCP Port	0 (0=Disable)
485 Terminating Resistors	Off

表示	説明
Protocol	RS-422 または RS-485 を選択します。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。
485 Terminating Resistors	終端抵抗の有効/無効を選択します。

9.7. PTZ

Setup メニュー画面から"PTZ"タブをクリックします。



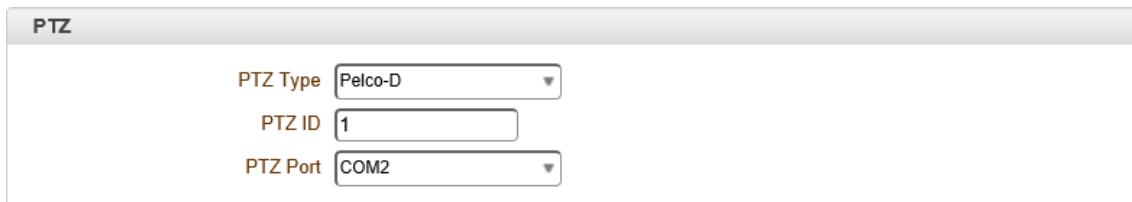
➤ PTZ メニュー

表示	説明
General	PTZ カメラの設定を行います。
Preset	Preset の設定を行います。
Group	グループ設定。全 8 グループで 1 グループ 20 組まで設定できます。
Advanced	再起動した際のカメラの位置、オートパーキング機能の設定を行います。

9.7.1. General

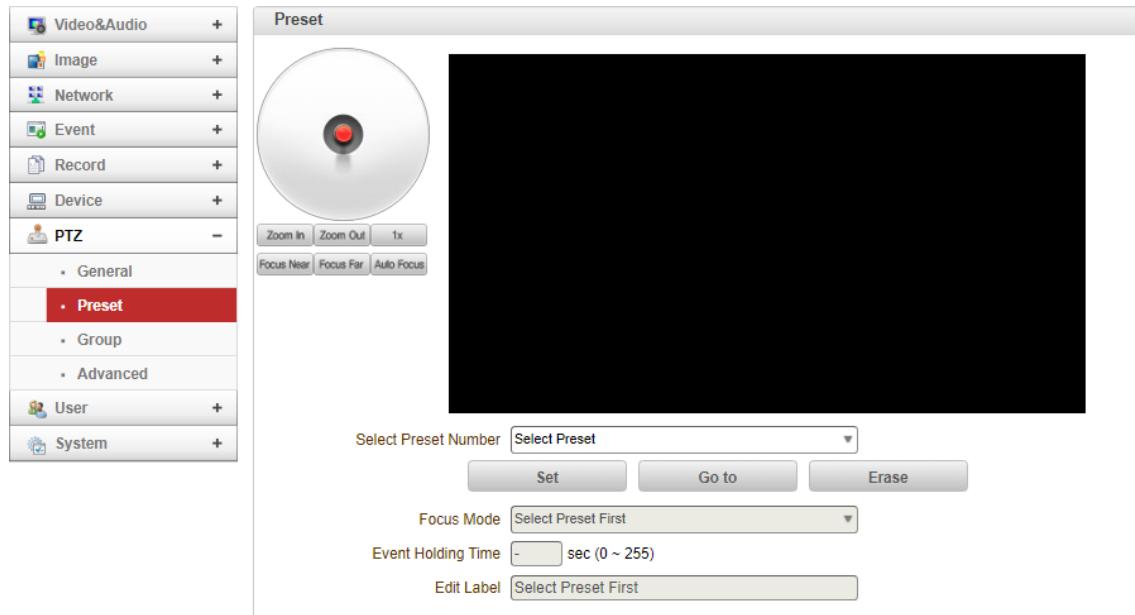


- PTZ



表示	説明
PTZ Type	PTZ カメラや受信機の種類を選択します。
PTZ ID	制御用のカメラや受信機の PTZ ID を入力します。[0-255]
PTZ Port	制御用 PTZ カメラと接続するシリアルポートを選択します。

9.7.2. Preset



- Preset

表示	説明
Select Preset Number	プリセット番号を選択します。(Preset-1~500)
Set	選択したプリセット番号に現在位置を設定します。
Go to	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットの位置へ移動します。
Erase	選択したプリセットを削除します。
Focus Mode	本機能は未サポートのため、ご使用になれます。
Event Holding Time	本機能は未サポートのため、ご使用になれます。
Edit Label	プリセットにラベルを割り当てます。

9.7.3. Group

No.	Action	Dwell Time(0~255)	Option(1~255)	Enable
1	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
2	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
3	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
4	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
5	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
6	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
7	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
8	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
9	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
10	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
11	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
12	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
13	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
14	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
15	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
16	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
17	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
18	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
19	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>
20	No Preset	0 sec	Speed 255	<input type="checkbox"/>

- Group

表示	説明
Action	グループに追加するプリセットを選択します。
Dwell time	各プリセットの滞留時間の設定を行います。
Option	映像の切り替わる速さを設定します。
Enable	有効にする場合はチェックを入れます。

9.7.4. Advanced

- Advanced

表示	説明
Power Up Action	再起動後のカメラの位置を設定します。
Motion Detection and Tampering disable on PTZ	On を選択すると、PTZ による動体検知を無効にできます。

- Auto Parking

Auto Parking

Parking Time	5	sec (0~3600, 0:0ff)
Parking Action #1	Preset-1	
Parking Action #2	Preset-2	
Parking Action #3	Preset-3	
Parking Action #4	Preset-4	

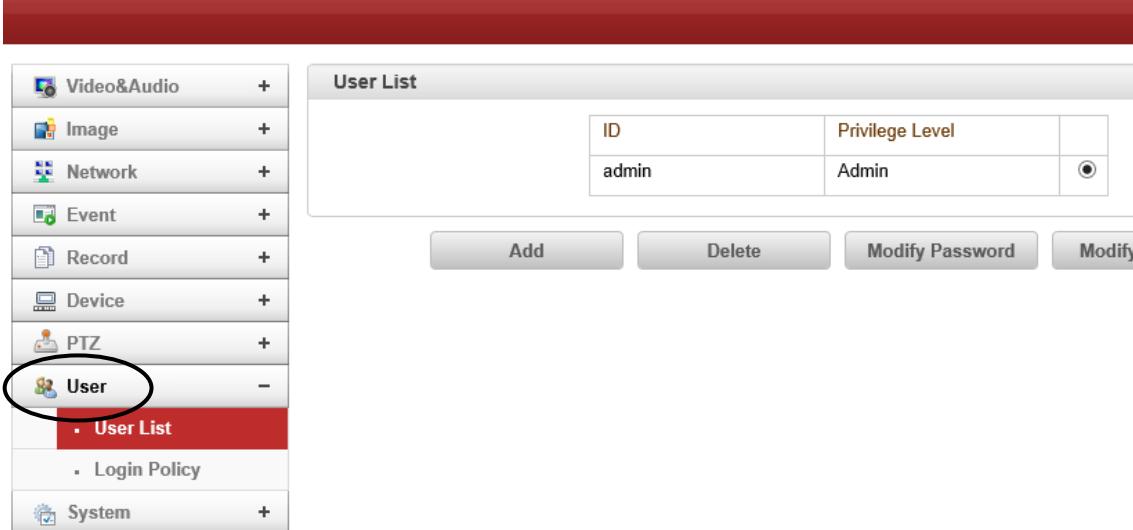
Schedule of Auto Parking

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Parking Time	カメラの位置を移動させた後、何秒で Parking Action の位置に戻ってくるのか設定します。 0 の場合は、オートparking機能がオフになっています。
Parking Action #1-4	Parking Time で設定した時間が経過すると、ここで指定した Preset にカメラ位置を戻すことができます。
Schedule of Auto Parking	Parking Action で設定したプリセットのスケジュールを設定します。

9.8. User

Setup メニュー画面から"User"タブをクリックします。



The screenshot shows the left sidebar of the setup menu with the following structure:

- Video&Audio
- Image
- Network
- Event
- Record
- Device
- PTZ
- User** (This item is highlighted with a red oval)
- System

On the right, the "User List" tab is selected, displaying a table with one row:

ID	Privilege Level
admin	Admin

Below the table are four buttons: Add, Delete, Modify Password, and Modify.

➤ User メニュー

表示	説明
User List	ユーザの登録・削除・変更を行います。 最大 16 ユーザ登録可能。(admin 含む)
Login Policy	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※上記の User 設定は、admin 権限レベルのユーザのみ設定できます。

9.8.1. User List

ID	Privilege Level	
admin	Admin	<input checked="" type="radio"/>

Add Delete Modify Password Modify Privilege

- User List

ID	Privilege Level	
admin	Admin	<input checked="" type="radio"/>

表示	説明
ID	ユーザの ID を表示します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを表示します。

ユーザ権限レベル

権限	操作可能範囲
Admin	すべての操作
Manager	User 設定を除くすべての操作
User	Live 画面の操作と PTZ 制御
Guest	Live 画面の操作のみ

- Add (新規登録)

Add ボタンをクリックします。



表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1~15 文字 ※英数字
Password	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※2~15 文字 ※英数記号 (“=”、“<”、“>”、“?”は使用不可)
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを選択します。

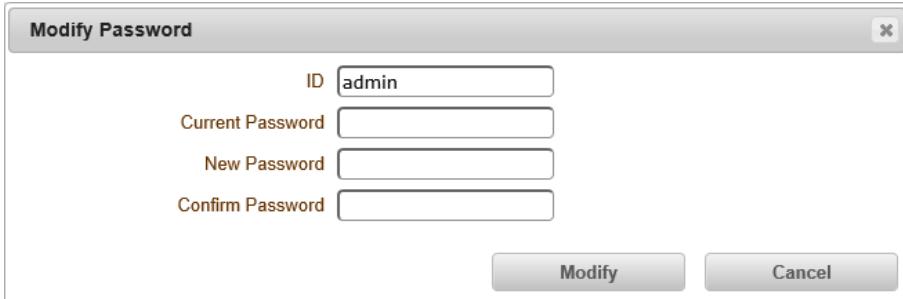
- Delete (ユーザ削除)

削除するユーザの右に黒丸を移動し Delete ボタンをクリックします。



- Modify Password (パスワードの変更)

パスワード変更をするユーザの右に黒丸を移動し、Modify Password ボタンをクリックします。

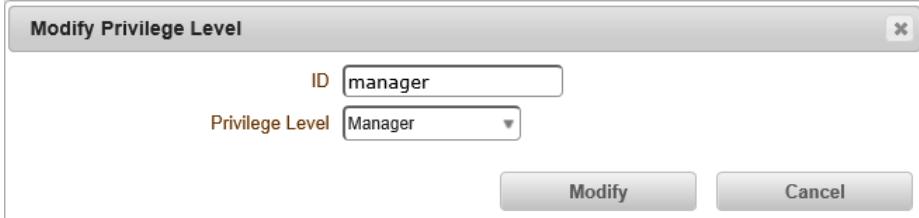


The dialog box is titled "Modify Password". It contains four input fields: "ID" (admin), "Current Password" (empty), "New Password" (empty), and "Confirm Password" (empty). At the bottom are "Modify" and "Cancel" buttons.

表示	説明
ID	パスワードを変更するユーザを表示します。
Current Password	現在のパスワードを入力します。(admin のみ入力)
New Password	新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。

- Modify Privilege (権限レベルの変更)

権限レベルを変更するユーザの右に黒丸を移動し Modify Privilege ボタンをクリックします。



The dialog box is titled "Modify Privilege Level". It contains two input fields: "ID" (manager) and "Privilege Level" (Manager, dropdown menu). At the bottom are "Modify" and "Cancel" buttons.

表示	説明
ID	権限を変更するユーザを表示します。
Privilege Level	権限レベルを選択します。

※admin ユーザの admin 権限は変更不可

9.8.2. Login Policy

- Login Policy

表示	説明
Authentication Type	HTTP 認証方式の基本認証(Basic)またはダイジェストアクセス認証(Digest)から選択します。

- Authentication

表示	説明
RTSP Authentication	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を行う際に、パスワード認証を要求します。
HTTPAPI Authentication	On に設定すると、HTTPAPI にて操作する際に、パスワード認証を要求します。

- Login Failure Process

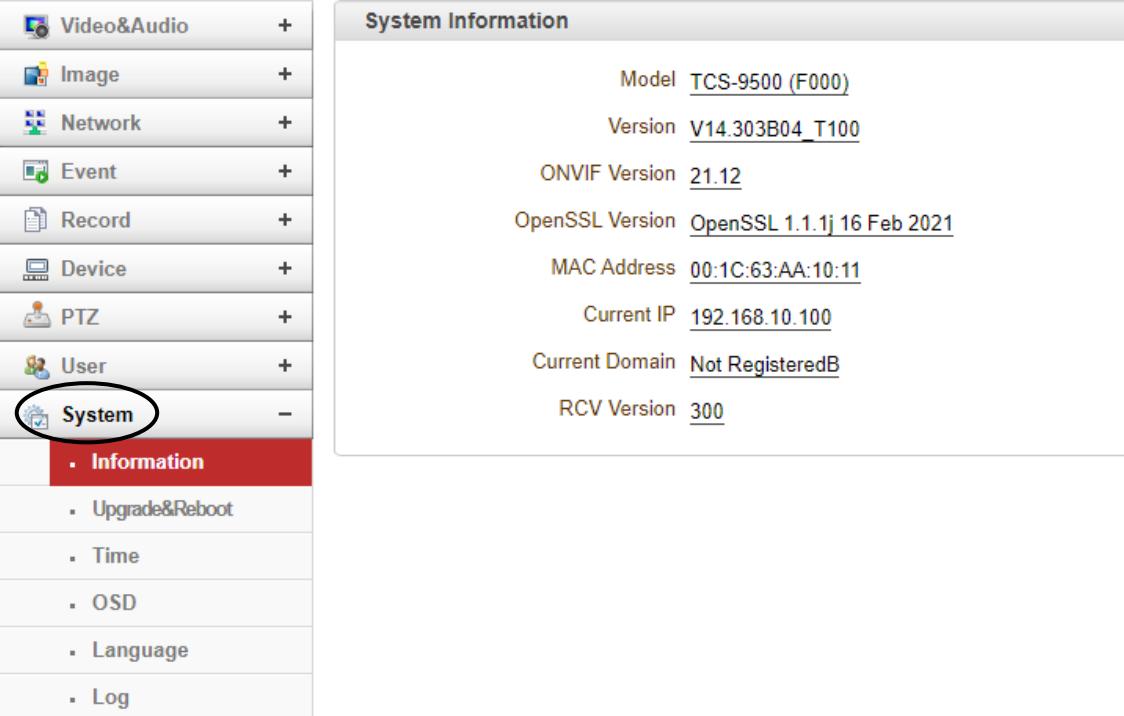
Login Failure Process

Number of Login failures Allowed	3
E-mail Notification	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On
User ID Blocking	30 seconds
Apply	

表示	説明
Number of Login failures Allowed	ログイン失敗の許容回数を設定します。 No limit(無制限)を選択した場合は、何回失敗してもブロックされません。 1,3,5,10を選択した場合は、失敗の許容回数を超えるとブロックされます。 ブロックされた場合、一定の時間ログインできなくなります。 【例】 3を選択した場合、3回連続で失敗しても4回目で成功すればログインできます。4回連続で失敗した場合、ブロックされます。
E-mail Notification	ログイン失敗しブロックされた場合、メール通知を行います。
User ID Blocking	ログイン失敗しブロックされた場合、ブロックする時間を設定します。 30秒, 60秒, 5分から選択し、経過すると再度ログインできます。

9.9. System

Setup メニュー画面から"System"タブをクリックします。



System Information

Model TCS-9500 (F000)
 Version V14.303B04_T100
 ONVIF Version 21.12
 OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021
 MAC Address 00:1C:63:AA:10:11
 Current IP 192.168.10.100
 Current Domain Not RegisteredB
 RCV Version 300

➤ System メニュー

表示	説明
Information	現在の機器情報の表示を行います。
Upgrade & Reboot	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
Time	現在の日時設定を行います。
OSD	システム名や日時の画面表示設定を行います。
Language	表示される言語設定を行います。
Log	ログの表示と保存を行います。

9.9.1. Information

- System Information

表示	説明
Model	モデル名を表示します。
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ONVIF Version	現在の ONVIF のバージョンを表示します。
OpenSSL Version	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
Current IP	現在の IP アドレスを表示します。
Current Domain	現在のドメイン名を表示します。
RCV Version	現在の RCV バージョンを表示します。

9.9.2. Upgrade & Reboot

Firmware
Version V14.303B04_T100
Upgrade No file chosen

Config Backup&Restore
Backup
Restore No file chosen

Reboot

Factory Reset
Exclusions Item

SSL Certificates Upload
Crt File No file chosen
Key File No file chosen
Default certificate is being used.

- Firmware

Firmware
Version V14.303B04_T100
Upgrade No file chosen

表示	説明
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Upgrade	参照ボタンをクリックし、PC からファームウェアファイルを選択します。 <input type="button" value="Firmware Upgrade"/> をクリックし、アップグレードを開始します。 アップグレード完了後に、本機は自動的に再起動します。 ※アップグレード中に電源を切らないで下さい。

- Config Backup & Restore

Config Backup&Restore

表示	説明
Backup	Backup をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
Restore	参照から保存されたコンフィグファイルを選択し、設定の復元します。 Restore をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは適用できません。

- Reboot

Reboot

表示	説明
Reboot	本機を再起動します。

- Factory Reset

Factory Reset

表示	説明
Exclusions Item	Network、Preset、User List で初期化しない設定にチェックをします。 設定が保持されるものを以下に記します。 Network: Network > IP&Port, QoS, Discovery, SNMP, DDNS, SSL User > Login Policy > Authentication Preset: PTZ > Preset, Group, Advanced > Auto Parking User List: User > User List
Factory Reset	ログを含む、すべての設定が初期化されます。

- SSL Certification Upload

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

SSL Certificates Upload

Crt File	Choose File No file chosen
Key File	Choose File No file chosen
<u>Default certificate is being used.</u>	
Upload	

9.9.3. Time

- Time

表示	説明
Start Time	本機の起動日時を表示します。
Current Time	本機の現在日時を表示します。
Set Time	手動で日付と時間を設定できます。 [Set Current Time] をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
Time Format	日時の表示形式を選択します。
Time Zone	本機が取り付けられている場所のタイムゾーンを選択します。
NTP	チェックを入れた場合、自動的に NTP サーバと同期します。 NTP を使用して、NTP サーバと本機の時刻を同期します。 ※同期間隔は 30 分程度
Server	NTP にチェックを入れた場合、同期させる NTP サーバを登録します。

9.9.4. OSD

System ID

System ID

Web Viewer OSD

System ID Off On

Time Off On

Position Bottom Top

Burn-in OSD

System ID Off On

Time Off On

Position Bottom Top

Font Size

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="text" value="4"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="30"/>	<input type="text" value="White"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

User-defined Bitmap OSD

Bitmap OSD1 Enable

Bitmap OSD2 Enable

- System ID

System ID

System ID

表示	説明
System ID	ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。 ※最大 15 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能

- Web Viewer OSD

Web Viewer OSD

System ID Off On
 Time Off On
 Position Bottom Top

表示	説明
System ID	システム ID を View 画面に表示させるのか Off/On を選択します。
Time	現在日時を View 画面に表示させるのか Off/On を選択します。
Position	System ID または Time が On の場合、表示する位置を上(Top)または下(Bottom)から選択します。

※Edge (Internet Explorer モード) のみ表示

- Burn-in OSD

Burn-in OSD

System ID Off On
 Time Off On
 Position Bottom Top
 Font Size

表示	説明
System ID	エンコード映像にシステム ID を表示させるのか Off/On を選択します。
Time	エンコード映像に現在日時を表示させるのか Off/On を選択します。
Position	System ID または Time が On の場合、表示する位置を上(Top)または下(Bottom)から選択します。
Font Size	フォントサイズを設定します。

- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
2		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>

表示	説明
String	エンコード映像に表示したい任意の文字列を入力します。 ※最大 20 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Font Size	フォントサイズを設定します。(12~84)
Color	フォントの色を設定します。
Enable	表示する場合は、Enable にチェックを入れます。

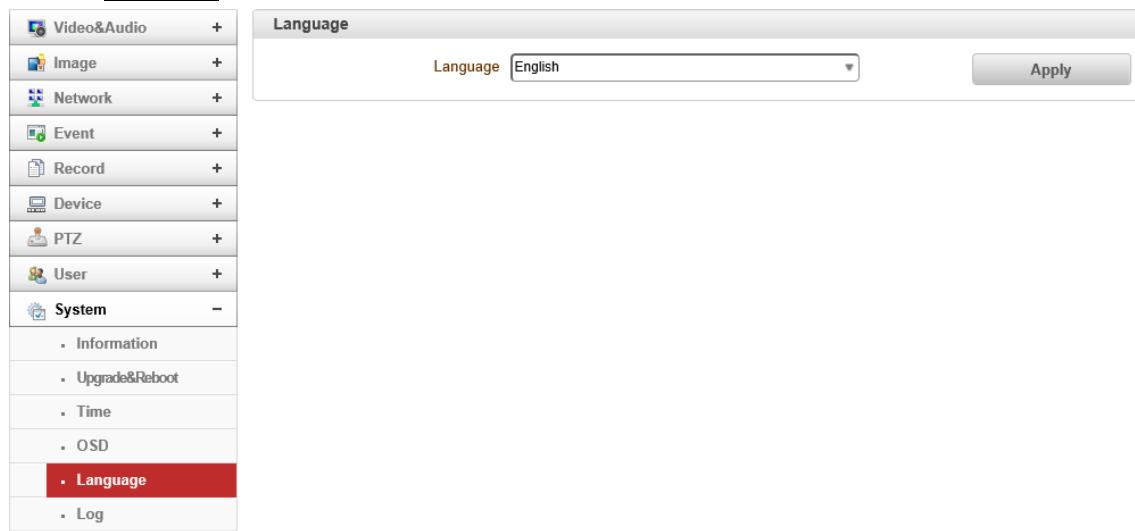
- User-defined Bitmap OSD

User-defined Bitmap OSD

Bitmap OSD1 Enable	On
X-Coord(0~1000)	0
Y-Coord(0~1000)	0
Current Bitmap	
Upload Bitmap	<input type="button" value="参照..."/>
Bitmap OSD2 Enable	Off
	<input type="button" value="Upload Bitmap"/>

表示	説明
Bitmap OSD1/2 Enable	エンコード映像にビットマップを入れる場合は、On にします。
Bitmap OSD2 Enable	ビットマップは 2 つまで設定可能です。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。(0~1000)
Current Bitmap	現在のビットマップを表示します。
Upload Bitmap	参照をクリックし、ビットマップ形式の画像ファイルを開きます。
<input type="button" value="Upload Bitmap"/>	ビットマップ形式の画像ファイルを PC からアップロードします。

9.9.5. Language



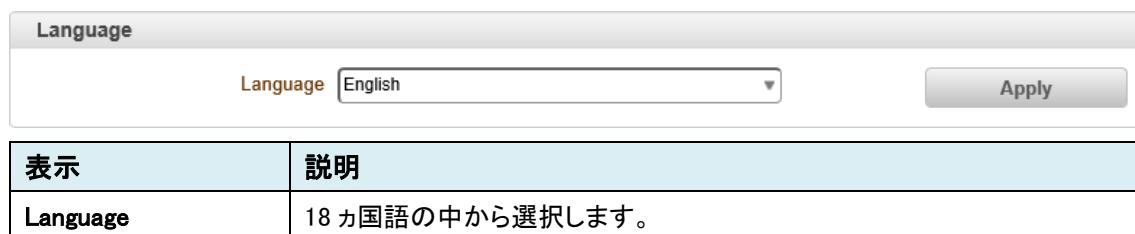
Language

Language English

Apply

表示	説明
Language	18カ国語の中から選択します。

- Language



Language

Language English

Apply

表示	説明
Language	18カ国語の中から選択します。

※本取扱説明書は英語版(English)で記載していますが、日本語も選択可能です。

9.9.6. Log

Video&Audio
+

Image
+

Network
+

Event
+

Record
+

Device
+

PTZ
+

User
+

System
-

Information

Upgrade&Reboot

Time

OSD

Language

Log

System Log

```
221206 09:09:35 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:10:33 ETC SWDIT Last Alive Time "221206 09:09:33"
221206 09:10:49 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:11:33 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221206 09:12:18 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:12:18 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221206 09:12:25 ACCOUNT Changed Password(admin)[Admin], ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:49 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 09:12:59 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:13:09 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 09:13:38 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 09:16:34 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.112B01_T100 -> V3.112B01.tus)
221206 09:16:34 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:17:52 SYSTEM Started (V3.112B01)
221206 09:18:19 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 09:22:49 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.112B01_T100 -> V3.111B06.tus)
221206 09:24:01 ETC SWDIT Last Alive Time "221206 09:22:21"
221206 09:24:31 SYSTEM Started (V3.111B06)
221206 10:00:07 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 10:00:07 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 10:06:03 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 10:05:41 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.111B06_T100 -> V3.112B01.tus)
221206 10:10:59 ETC SWDIT Last Alive Time "221206 10:09:11"
221206 10:11:20 SYSTEM Started (V3.112B01)
221206 10:14:37 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 10:14:37 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 10:14:46 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 10:14:58 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 11:44:38 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221206 13:28:14 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 13:28:21 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 13:28:26 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 13:28:36 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 13:28:41 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221206 13:28:44 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221206 13:28:50 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)

```

Filter Backup Account Environment System PTZ Etc Connection

Get System Log
Save System Log
Delete System Log File

User Log

```
221205 13:24:04 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:06 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:06 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:10 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:13 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:18 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:21 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:24 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:55 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
221205 16:35:55 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
221206 08:34:10 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
221206 08:34:10 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
221206 08:48:53 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.110)
221206 09:12:08 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:08 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:08 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:41 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:18:11 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 10:11:17 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
```

Get User Log
Save User Log
Delete User Log File

Save Log Option

	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

Apply

- System Log

System Log

```

221205 13:24:04 ACCOUNT Delete 8(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:04 ACCOUNT Delete 7(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:04 ACCOUNT Delete 6(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:10 ACCOUNT Delete 5(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:14 ACCOUNT Delete 4(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:16 ACCOUNT Delete 2(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:19 ACCOUNT Delete 3(Manager), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:43 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 13:25:12 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 13:25:15 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 16:35:55 CONNECTION RTSP Connected IP(127.0.0.1)
221205 16:38:54 CONNECTION RTSP Disconnected IP(127.0.0.1)
221205 17:46:20 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 17:46:30 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 22:04:15 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221205 22:04:56 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 08:34:10 CONNECTION RTSP Connected IP(127.0.0.1)
221205 08:34:18 CONNECTION RTSP Disconnected IP(127.0.0.1)
221205 08:39:04 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 08:39:24 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 08:47:54 SYSTEM Reboot ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 08:48:34 ETC SWDT Last Alive Time "221206 08:47:55"
221205 08:48:34 SYSTEM Started (V3.112B01)
221205 08:48:52 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 09:09:39 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 09:10:33 ETC SWDT Last Alive Time "221206 09:09:33"
221205 09:10:33 SYSTEM Started (V3.112B01)
221205 09:10:49 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 09:10:49 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221205 09:11:33 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 09:11:33 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221205 09:12:16 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 09:12:16 CONNECTION RTSP Disconnected IP(192.168.10.110)
221205 09:12:25 ACCOUNT Changed Password(admin/Admin), ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 09:12:44 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 09:12:49 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 09:12:53 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)
221205 09:13:03 CONNECTION Normal Connected IP(192.168.10.7)
221205 09:13:33 CONNECTION Normal Disconnected IP(192.168.10.7)
221205 09:16:34 SYSTEM Upgrade success ID(admin), IP(192.168.10.7), (V3.112B01_T100 -> V3.112B01.tus)
221205 09:17:52 ETC SWDT Last Alive Time "221206 09:16:08"
221205 09:17:52 SYSTEM Started (V3.112B01)
221205 09:18:19 CONNECTION RTSP Connected IP(192.168.10.110)

```

Filter Backup Account Environment System PTZ Etc Connection

[Get System Log](#) [Save System Log](#) [Delete System Log File](#)

表示	説明
Filter	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
Get System Log	システムログを表示します。
Save System Log	表示されているシステムログを txt ファイルとして保存できます。
Delete System Log File	システムログを削除します。

● User Log

User Log

```

221205 13:23:55 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:01 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:04 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:06 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:08 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:10 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:13 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:16 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 13:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221205 16:35:52 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
221205 08:34:10 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
221205 08:34:10 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
221205 08:48:53 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.110)
221206 09:12:04 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:06 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:14 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:12:41 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:18:11 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 09:24:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
221206 10:11:17 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)

```

Get User Log Save User Log Delete User Log File

表示	説明
<input type="button" value="Get User Log"/>	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
<input type="button" value="Save User Log"/>	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
<input type="button" value="Delete User Log File"/>	ユーザログインに関するログを削除します。

● Save Log Option

Save Log Option

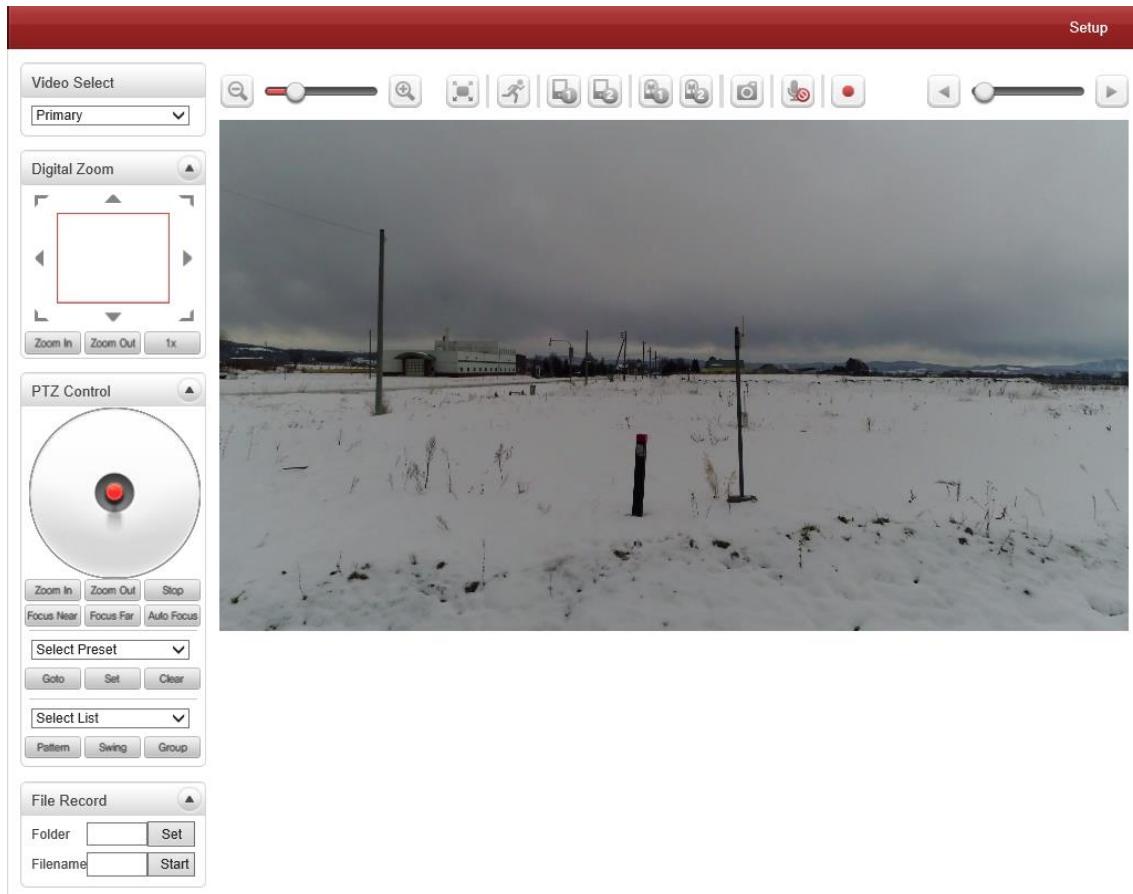
	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

Apply

表示	説明
Include	保存するログにさまざまなオプションを含めることができます。
Exclude	保存するログからさまざまなオプションを外すことができます。

10. Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



表示	説明
View 画面	<p>エンコード映像を Web ブラウザの View 画面に表示します。</p> <p>使用する Web ブラウザと、選択する Algorithm によって、フレームレートの上限が異なります。</p> <p>Edge (IE 互換モード) : H.264/H.265/MJPEG は、50~60fps で表示 Chrome, Edge : H.264 は 50~60fps、H.265/MJPEG は 2fps で表示</p>
Video Select	<p>表示する映像ストリームを選択します。</p> <p>(Primary, Secondary #1~#3)</p>
Digital Zoom	<p>View 画面上のズーム制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>1x : ワンクリックで通常サイズに戻ります。</p> <p>※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。</p>

	<p>Pan(左右)、Tilt(上下)、Zoom(拡大)の制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>Stop : 現在進行中のアクションを停止します。</p> <p>Focus Near : 近くに物体に焦点を合わせます。</p> <p>Focus Far : 遠くの物体に焦点を合わせます。</p> <p>Auto Focus : 自動的に焦点を合わせます。</p>
	<p>Preset の設定を行います。</p> <p>Goto:選択したプリセット位置へカメラを移動します。</p> <p>Set:現在の位置でプリセットを保存します。</p> <p>Clear:プリセットを解除します。</p>
	<p>Pattern/Swing:本機能は未サポートのため、ご使用になれます。</p> <p>Group:選択したグループ設定の通りに PTZ します。</p>
	<p>PC のダウンロードフォルダに保存することができます。</p> <p>Filename:ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。</p> <p>ファイル名 [Filename_IPAddress_hh_mm_ss] の MKV ファイルを作成。</p> <p>※Chrome, Edge (H.264) で使用可能</p>
	<p>Live 画面のスクリーンサイズを調節します。</p>
	<p>フルスクリーンになります。Esc キーで元のサイズに戻ります。</p> <p>※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。</p>
	<p>Motion Detection(動体検知機能)が有効、設定した範囲内で動きを感知すると赤くなります。</p>
	<p>センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。</p> <p>※Chrome, Edge (H.264) で使用可能</p>
	<p>本機能は未サポートのため、ご使用になれます。</p>
	<p>Live 画面からの音声出力の有効(左)/無効(右)を選択します。</p> <p>※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。</p>
	<p>録画状況を確認できます。</p> <p>赤:録画しています(左) / 黒:録画していません(右)</p>
	<p>映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。</p> <p>※Chrome, Edge (H.265/MJPEG) は未サポートとなります。</p>

11. 製品仕様

製品名	TCS-9500	
圧縮方式	H.264、H.265、MJPEG	
タイプ	エンコーダ	
入出力解像度	640x480 ~ 3840x2160	
エンコード解像度	320x240 ~ 3840x2160	
最大フレームレート	60fps @3840x2160	
ビデオ	入力	HDMI x1(Type A)
	出力	HDMI x1(Type A)
	データレート	Primary : 32kbps ~ 50Mbps Secondary : 32kbps ~ 4Mbps
オーディオ	スタンダード	G.711 / AAC
	入力	Line-In x1(ステレオミニジャック)、HDMI x1
	出力	Line-Out x1(ステレオミニジャック)、HDMI x1
	サンプルレート	G.711 : 8kHz AAC : 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
	データレート	G.711 : 64kbps AAC : 32kbps / 64kbps / 128kbps / 192kbps
ネットワーク		Ethernet 10/100/1000BASE-T(RJ-45) x1
		•Full/Half duplex Auto detection
		•オート MDI/MDI-X
		•IEEE 802.3at Power Over Ethernet PD
USB ポート		USB3.0 x1
外部装置	アラームポート	アラーム出力 x2
	センサーポート	センサー入力 x2
	シリアルポート	RS-232 x1 RS-422/485 x1
	ブザー	ブザー x1
寸法		(W)134 x (H)33 x (D)125mm(突起部含まず)
重量		520g(本体のみ)
電源	DC ジャック	DC12V
	PoE	802.3at PoE 入力
最大消費電力		15W
動作温度		-10~+50°C
動作湿度		0~90%RH(結露なきこと)

保存温度	-20～+50°C
保存湿度	0～90%RH(結露なきこと)
認証	VCCI Class A、CE、FCC、RoHS
製品保証期間	本体:1年間 ACアダプタ:2年間
付属品	梱包物一覧を参照

12. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のパソコン等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

13. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より 3ヶ月間 (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間：

《本体》ご購入日より 1年間 (お預かりによる修理、または交換対応)

《AC アダプタ》ご購入日より 2年間 (お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間：平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）9:00～17:00

TEL：0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html



Copyright © 2023

HYTEC INTER Co., Ltd.